

盛岡市電子納品ガイドライン  
運用編(案)

盛岡市

(概要)

第1 盛岡市電子納品ガイドライン運用編(案)は、盛岡市電子納品ガイドライン(案)(以下、本ガイドラインという。)の運用において、必要な事項を定めたものである。なお、特に定めのない事項については、岩手県電子納品ガイドライン(以下、県ガイドラインという。)に準ずるものとする。

(関係要領等)

第2 電子納品に適用する関係要領等(以下、国の要領等という。)は、以下のとおりとする。また、国の要領等に改訂があるとき、改訂後へ読替えるものとする。

(1) 土木・林道関係(国土交通省制定)

ア 一般土木

- (ア) 工事完成図書の電子納品等要領
- (イ) 土木設計業務等の電子納品要領
- (ウ) CAD 製図基準
- (エ) デジタル写真管理情報基準
- (オ) 測量成果電子納品要領
- (カ) 地質・土質調査成果電子納品要領
- (キ) i-Constructionに関する電子納品参考資料

イ 電気・通信関係

- (ア) 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編
- (イ) 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編
- (ウ) CAD 製図基準 電気通信設備編

ウ 機械関係

- (ア) 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編
- (イ) 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編
- (ウ) CAD 製図基準 機械設備工事編

(2) 建築営繕(建築設備を含む。以下同じ。)関係(国土交通省及び盛岡市制定)

- ア 盛岡市建築工事等電子納品要領
- イ 工事写真の撮り方(建築編・建築設備編)
- ウ 営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 以下同じ。)
- エ 建築設計業務等電子納品要領
- オ 建築CAD図面作成要領(案)

(3) 農業農村整備関係(農林水産省農村振興局設計課施工企画調整室制定)

ア 農業土木

- (ア) 設計業務等の電子納品要領(案)
- (イ) 工事完成図書の電子納品要領(案)
- (ウ) 電子化図面データの作成要領(案)
- (エ) 電子化写真データの作成要領(案)

- (オ) 測量成果電子納品要領(案)
- (カ) 地質・土質調査成果電子納品要領(案)

#### イ 電気・通信関係

- (ア) 設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編
- (イ) 工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編
- (ウ) 電子化図面データの作成要領(案) 電気通信設備編

#### ウ 機械設備関係

- (ア) 設計業務等の電子納品要領(案) 機械設備工事編
- (イ) 工事完成図書の電子納品要領(案) 機械設備工事編
- (ウ) 電子化図面データの作成要領(案) 機械設備工事編

(押印を要するものの取扱い)

第3 以下に示すものは、原則として紙で提出するものとする。

- (1) 原契約の内容が市営建設工事設計変更等事務取扱要領の規定に基づき変更となるもの(変更設計を要する内容が記載された工事打合簿など。)
- (2) 法令又は条例若しくは契約約定及び約款の規定に基づき提出するもの(完成届など)
- (3) 代表者の押印を要するもの(電子媒体納品書、代金請求書など)
- (4) その他調査職員又は監督職員が定めるもの

(使用文字)

第4 以下に示す文字は、国の要領等に明記してある場合を除き、使用してはならないものとする(受注者名称、施設名称、地名等によるものは、除く。)

- (1) 半角カナ、半角濁点等(例 ア, イ, ウ・・・リ, ヲ, ソ)
- (2) 機種依存文字等 (例 ①, ②, ③・・・, I, II, III・・・, ミリ, キロ, セン,メートル・・・, mm, cm, km, mg・・・, 晙, 大正, 昭和・・・, (株), (有), (代)・・・, &, §, No.・・・)

(電子納品チェックシステム)

第5 電子納品チェックシステムは、以下を標準とし、バージョンは、最新のものを利用して確認するものとする。なお、盛岡市電子納品ガイドライン運用編(案)に基づいて作成する固有のエラー(例 図面ファイルが SFC 形式によるエラー、DRAWINGS フォルダ、SPEC フォルダが存在することによるエラー等)は、確認時に除外して良いものとする。ただし、電子納品チェックシステム制作者のホームページ等に掲載されている質疑応答集等で除外内容について確認するとともに調査職員又は監督員へ確認するものとする。

- (1) 一般土木(国土交通省) 電子納品チェックシステム(土木)
- (2) 電気・通信(国土交通省) 電子納品チェックシステム(電通)
- (3) 機械(国土交通省) 電子納品チェックシステム(機械)
- (4) 建築営繕(国土交通省) 電子成果品作成支援・検査システム

(5) 農業農村整備関係(農林水産省) 電子納品チェックシステム

(電子納品で使用するファイル形式)

第6 電子納品で使用するファイル形式は、以下のとおりとする。なお、可能であれば、スタイルシートを作成することが望ましい。

- (1) 管理ファイルは、XML 形式とする。文字符号化方式は、Shift - JIS とし、作成にあたっては、国の要領等によるものとする。なお、業務管理ファイル及び工事管理ファイル(INDEX\_○.XML)は、電子媒体読込時に電子納品チェックシステム及び目視により確認できるようフォルダ等に格納せず、電子媒体の直下に記録すること。
- (2) 定義ファイルは、DTD 形式とする。特に指定のない限り、国の要領等で示している最新の構造を使用するものとする。
- (3) 報告書ファイルは、PDF 形式(XDW 形式は、原則認めないものとする。)とする。また、章、節、項までしおりを作成することを標準とし、セキュリティの設定を行わないものとする。また、起動時は、表紙ページが倍率 100 パーセントで表示される設定とするものとする。
- (4) 報告書オリジナルファイルは、DOC 形式(DOCX 形式又は DOCM 形式も可能とする。)を標準とし、Microsoft 社 Word2000 に対応した形式とする。
- (5) 表計算ファイルは、XLS 形式(XLSX 形式又は XLSM 形式も可能とする。)を標準とし、Microsoft 社 Excel2000 に対応した形式とする。また、リンク切れに注意するとともに、VBA(TEXTCALC 関数等)を利用する場合は、権利内容を確認の下、利用することとし、単独で起動できるように関連ファイルを表計算ファイルにインポートすること。
- (6) 図面ファイルは、SXF(SFC)形式を標準とする(DWG, DXF 形式等に置換えることは、原則認めないものとする。)。また、以下について留意するものとする。
  - ア 作成にあたっては、SXF レベル 2Ver2.0 以上に対応した CAD ソフト(OCF 検定に合格した CAD ソフトが望ましい。)とするものとする。ただし、クロソイド曲線(道路線形等)のある図面ファイル、多数のラスタファイルを用いる図面ファイル、図面管理情報のある図面ファイル、図面属性情報のある図面ファイル等にあつては、SXF レベル 2Ver3.1 以上での納品が望ましい。
  - イ 図面の尺度は、1 : Aにおいて、Aが、 $1 \times 10n$ 、 $2 \times 10n$ 、 $3 \times 10n$ 、 $4 \times 10n$ 、 $5 \times 10n$ 、 $6 \times 10n$ 、 $1.5 \times 10n$  及び  $2.5 \times 10n$  となるものを標準とする(nは整数。)
  - ウ フォントは、TrueType フォントを標準とし、固有のものを避け、一般的なものを使用するものとする。
  - エ 文字の大きさは、1.8, 2.5, 3.5, 5, 7, 10, 14 及び 20mm を標準とする。ただし、建築営繕にあつては、2, 2.5, 3, 4, 5, 7, 10, 15 及び 20mm を標準とする。
  - オ 線色は、黒, 赤, 緑, 青, 黄, マゼンタ, シアン, 白, 牡丹, 茶, 橙, 薄緑, 明青, 青紫, 明灰及び暗灰の 16 色を標準とする。
  - カ 線種は、JIS Z8312:1999「製図—表示の一般原則—線の基本原則」に定義されて

いる 15 種類の線種(実線, 破線, 一点鎖線及び二点鎖線)を標準とする。

キ 線の太さは, 図面の大きさや種類により, 0.13, 0.18, 0.25, 0.35, 0.5, 0.7, 1.0, 1.4 及び 2.0mm を標準とする。ただし, 建築営繕にあつては, 0.1, 0.15, 0.2, 0.25 及び 0.5mm を標準とする。

ク 背景色は, 黒を標準とする。

ケ レイヤ命名規則は, 国の要領等に則するものとする。建築営繕においては, 国の要領等(建築 CAD 図面作成要領(案)等)に示す基本的なレイヤ分類の例に従ってレイヤ分けを行い, レイヤリストを併せて納品するものとし, レイヤリストは, PDF 形式(LAYERL\_S.PDF(図面ファイル)・LAYERL\_O.PDF(図面オリジナルファイル))とする。

コ 図面は, 1 図面 1 ファイルとし, 大きさは, A1 を標準とし, これにより難しいときは, A0, A2, A3 又は A4 とする。

サ 建築営繕における図面オリジナルファイルの形式は, JWW 形式を標準とし, これにより難しいときは, DXF 形式, P21 形式その他協議による形式とし, **図面ファイル(SXF(SFC)形式)**と併せて納品するものとする。

シ 図面には, 図枠を設けるものとする。図枠は, 実線とし, 図枠外は, A0 及び A1 では 20mm 以上, その他は 10mm の余白を設けるものとする。図面を綴るときは, 綴代を設ける箇所を, A0, A1 及び A2 にあつては 40mm, A3 及び A4 にあつては 30mm とする。

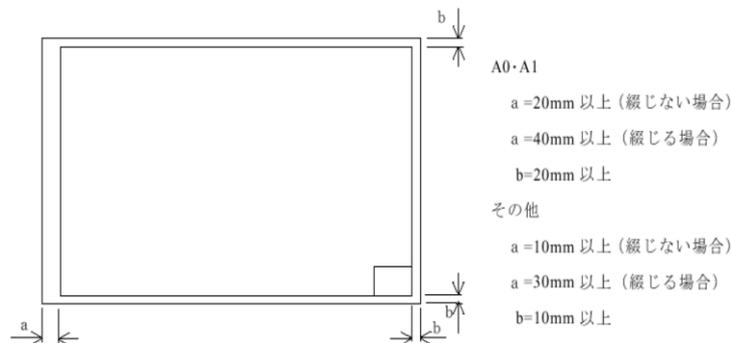


図 輪郭と余白

ス 表題欄は, 以下を標準とする。

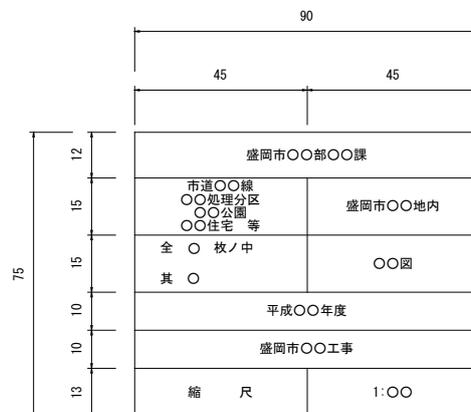


図 表題欄(単位ミリメートル)

セ 市販 CAD ソフトにおける「0 レイヤ」, 「defpoints レイヤ」 その他不要なレイヤは, 確認の上, 削除するものとする。

ソ その他関係規則は, 国の要領等に則したものとする。

(7) 写真ファイル(空中写真ファイルを除く。)は, JPEG 形式とする。また, 以下について留意するものとする。

ア 写真の信憑性を考慮し, 写真編集は認めない。

イ 有効画素数は, 黒板の文字を指標とする(約 100~300 万画素程度とする。)

ウ 可能な限り, デジタル工事写真の小黒板情報電子化を利用するものとする。

(仕様は, 岩手県「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」に準ずる。)

(8) 測量成果データ(座標, 幅杭, 測点, 境界, 画地等)は, SIMA 形式とする。なお, 座標値等の成果がある設計業務等は, 納品するものとする。

(9) LandXML に準じた 3 次元設計データに用いるファイルは, 国の要領等に則した XML 形式とする。

(10) 国の要領等(UAV を用いた測量等)に則した空中写真ファイルは, TIFF 形式とする。

(11) その他のファイルの形式は, 国の要領等によるものとする。

(電子媒体への格納フォーマット形式)

第 7 電子媒体への格納フォーマット形式は, CD-R のときは, Joliet, DVD-R のときは, UDF(UDF Bridge)とする。なお, 電子媒体は, 正副記載の上, 1 部につき 1 枚の納品を標準とする。ただし, 電子成果品が電子媒体規定の容量に収まらないときに限り, 正副記載の上, 1 部につき 2 枚以上に分けて納品するものとする。

(フォルダ及びファイル命名規則)

第 8 フォルダ及びファイル命名規則は, 国の要領等を標準とする(電子納品チェックシステムでエラーとなる命名規則(日本語名称等)は, 原則認めないものとする。)

(1) 業務・工事(建築営繕を除く。)

ア フォルダ命名規則(参考)

(ア) 報告書フォルダ名は, 「REPORT」とする。

(イ) 報告書オリジナルファイルフォルダ名は, 「ORG(REPORT に格納)」とする。

(ウ) 図面フォルダ名(業務)は, 「DRAWING」とする。

(エ) 工事完成図フォルダ名(工事)は, 「DRAWINGF」とする。

(オ) 工事発注図フォルダ名(工事)は, 「DRAWINGS」とする。

(カ) 特記仕様書オリジナルファイルフォルダは, 「SPEC(DRAWINGS に格納)」とする。

(キ) 写真フォルダ名(親フォルダ)は, 「PHOTO」とする。

(ク) 写真フォルダ名(子フォルダ)は, 「PIC(PHOTO に格納)」とする。

(ケ) 参考図フォルダ名は, 「DRA(PHOTO に格納)」とする。

(コ) 測量データフォルダ名は, 「SURVEY」とする。

(サ) 地質データフォルダ名は, 「BORING」とする。

- (シ) 施工計画書フォルダ名は、「PLAN」とする。
- (ス) 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (PLAN に格納)」とする。
- (セ) 打合せ簿フォルダ名は、「MEET」とする。
- (ソ) 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (MEET に格納)」とする。
- (タ) 台帳フォルダ名は、「REGISTER」とする。
- (チ) 台帳オリジナルファイルフォルダ名は、「ORGnnn (REGISTER に格納)」とする。
- (ツ) その他フォルダは、「OTHRs」とする。
- (テ) その他オリジナルファイルフォルダ名は、「ORGnnn (OTHRs に格納)」とする。  
(※ nnn は、任意の半角英数字 3 文字)。
- (ト) ICT 成果に係るフォルダ名(親フォルダ)は、「ICON」とする。
- (ナ) ICT 成果における LandXML 成果に係るフォルダ名(子フォルダ)は、「LandXML」とする。
- (ニ) ICT 成果における UAV 成果に係るフォルダ名(子フォルダ)は、「UAV」とする。  
ただし、測量データフォルダ「SURVEY」に格納すべき成果を除く。

#### イ ファイル命名規則(参考)

- (ア) 報告ファイル名は、「REPORTnn. PDF」とする。
  - ・「REPORT」 固定
  - ・「nn」 任意の半角英数字 2 文字
- (イ) オリジナルファイル名は、「REPnn\_mm. XXX」とする。
  - ・「REP」 固定 (REPORT の意)
  - ・「nn」 任意の半角英数字 2 文字
  - ・「mm」 任意の半角英数字 2 文字
  - ・「XXX」 オリジナルファイル拡張子
- (ウ) 打合せ簿ファイル名は、「Mnnnn\_mm. XXX」とする。
  - ・「M」 固定 (MEET の意)
  - ・「nnnn」 任意の半角英数字 4 文字
  - ・「mm」 任意の半角英数字 2 文字
  - ・「XXX」 オリジナルファイル拡張子
- (エ) 施工計画書ファイル名は、「PLAnn\_mm. XXX」とする。
  - ・「PLA」 固定 (PLAN の意)
  - ・「nn」 任意の半角英数字 2 文字
  - ・「mm」 任意の半角英数字 2 文字
  - ・「XXX」 オリジナルファイル拡張子
- (オ) 特記仕様書ファイル名は、「SPECnn. XXX」とする。
  - ・「SPEC」 固定
  - ・「nn」 任意の半角英数字 2 文字
  - ・「XXX」 オリジナルファイル拡張子
- (カ) CAD データ名は、「(例) 001D0PLZ -全体平面図. SFC (D0PL001Z. SFC)」のように以下

のとおりとする。

- ・ 図面番号を記入するものとする(001~999)。
- ・ ライフサイクルを記入するものとする(測量「S」, 設計「D」, 施工「C」, 維持管理「M」)
- ・ 整理番号を記入するものとする(0~) (欠番可)。
- ・ 主たる図面の種類を記入するものとする(位置図「LC」, 平面図「PL」, 縦断図「PF」, 標準横断図「SS」, 横断図「CS」, 構造図「VS」, 小構造図「LS」, 配筋図「RB」等)。
- ・ 改定履歴を記入するものとする(0~9, A~Y, 最終成果は, Zとする。)
- ・ 必要に応じてユーザ定義領域を記入するものとする(ハイフン及び 52 文字以内)。
- ・ 「SFC」 拡張子

(キ) CAD データで利用するラスタファイルの名は, 「(例) 001DOPL1-全体平面図.TIF (DOPL0011.TIF)」のように以下のとおりとする。

- ・ 図面番号を記入するものとする(001~999)。
- ・ ライフサイクルを記入するものとする(測量「S」, 設計「D」, 施工「C」, 維持管理「M」)。
- ・ 整理番号を記入するものとする(0~) (欠番可)。
- ・ 主たる図面の種類を記入するものとする(位置図「LC」, 平面図「PL」, 縦断図「PF」, 標準横断図「SS」, 横断図「CS」, 構造図「VS」, 小構造図「LS」, 配筋図「RB」等)。
- ・ 改定履歴を記入するものとする(0~9, A~Y, 最終成果は, Zとする。)
- ・ 必要に応じてユーザ定義領域を記入するものとする(ハイフン及び 52 文字以内)。
- ・ 「TIF」 拡張子

(ク) 写真ファイル名は, 「Pnnnnnnn.JPG」とする。

- ・ 「P」 固定(PHOTO の意)
- ・ 「nnnnnnn」 任意の半角英数字 7 文字
- ・ 「JPG」 拡張子

(ケ) 参考図ファイル名は, 「Dnnnnnnn.XXX」とする。

- ・ 「D」 固定(DRAWING の意)
- ・ 「nnnnnnn」 任意の半角英数字 7 文字
- ・ 「XXX」 JPG, TIF 等

(コ) 設備図書オリジナルファイル名は, 「FCLnn\_mmm.XXX」とする。

- ・ 「FCL」 固定(FACILITY の意)
- ・ 「nn」 任意の半角英数字 2 文字
- ・ 「mmm」 任意の半角英数字 3 文字
- ・ 「XXX」 オリジナルファイル拡張子

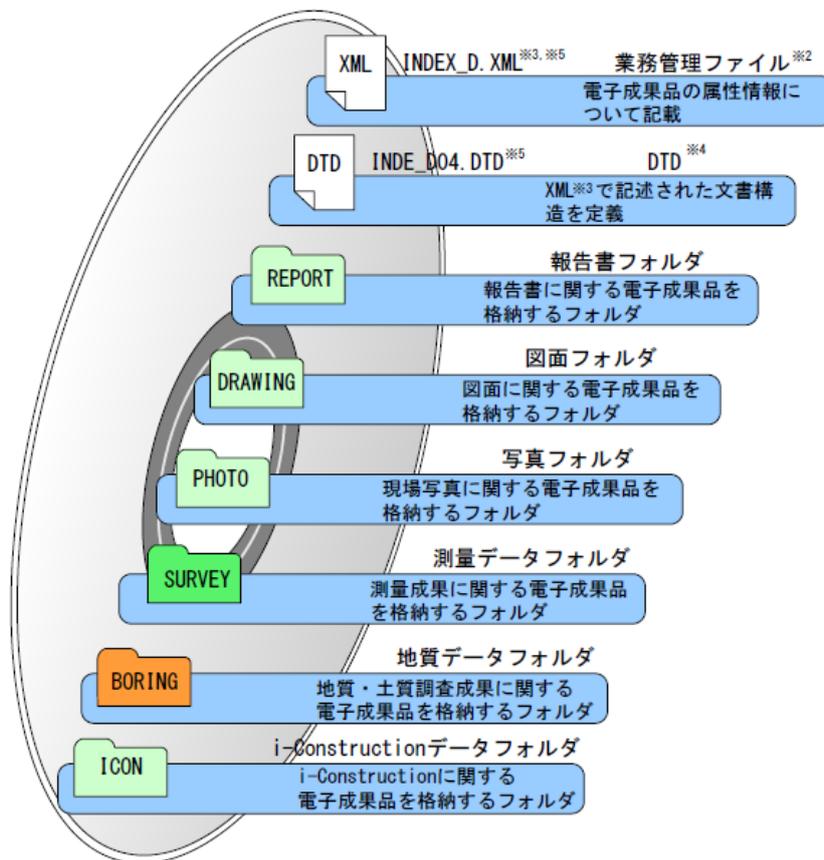


図 電子媒体に格納される電子成果品のイメージ例(土木業務委託) 出典 国土交通省

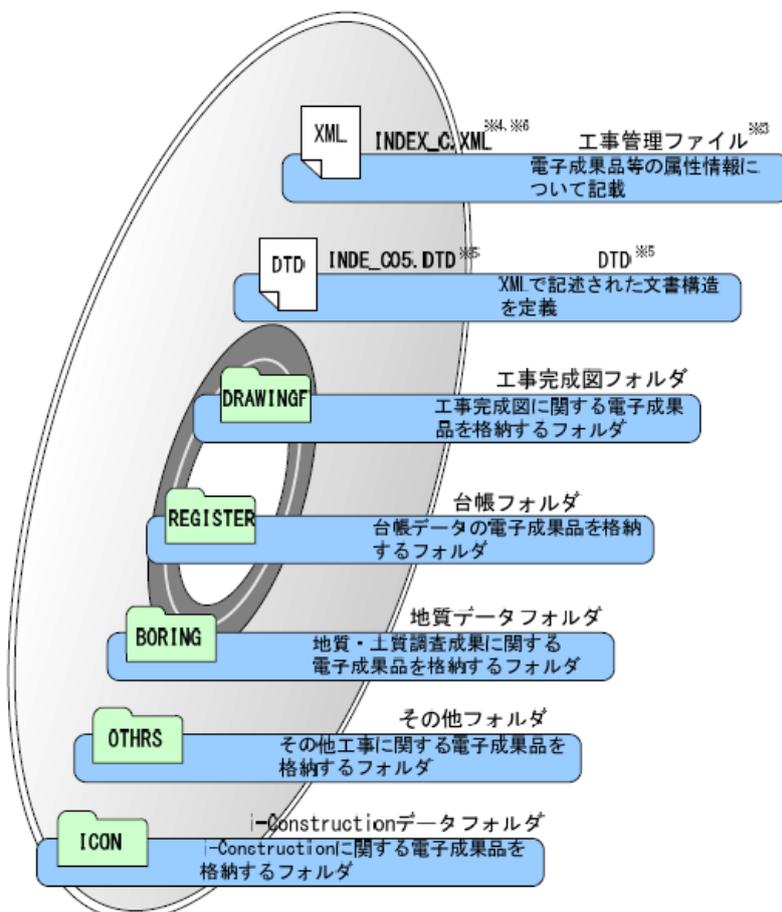


図 電子媒体に格納される電子成果品のイメージ例(土木工事) 出典 国土交通省

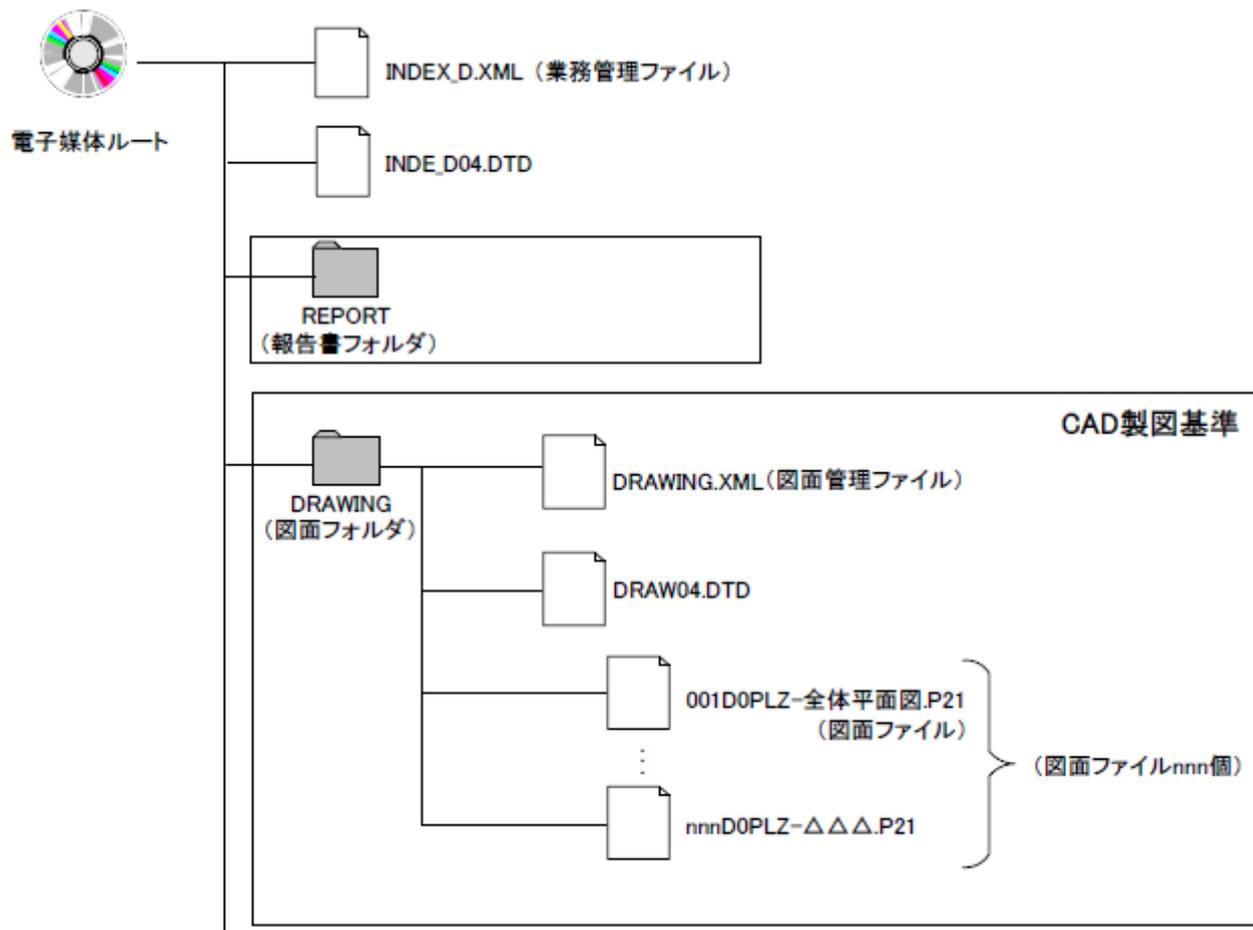


図 電子媒体に格納される図面ファイルの格納イメージ例(土木業務委託)  
 出典 国土交通省 (盛岡市においては、「P21」を「SFC」へ置換えます。)

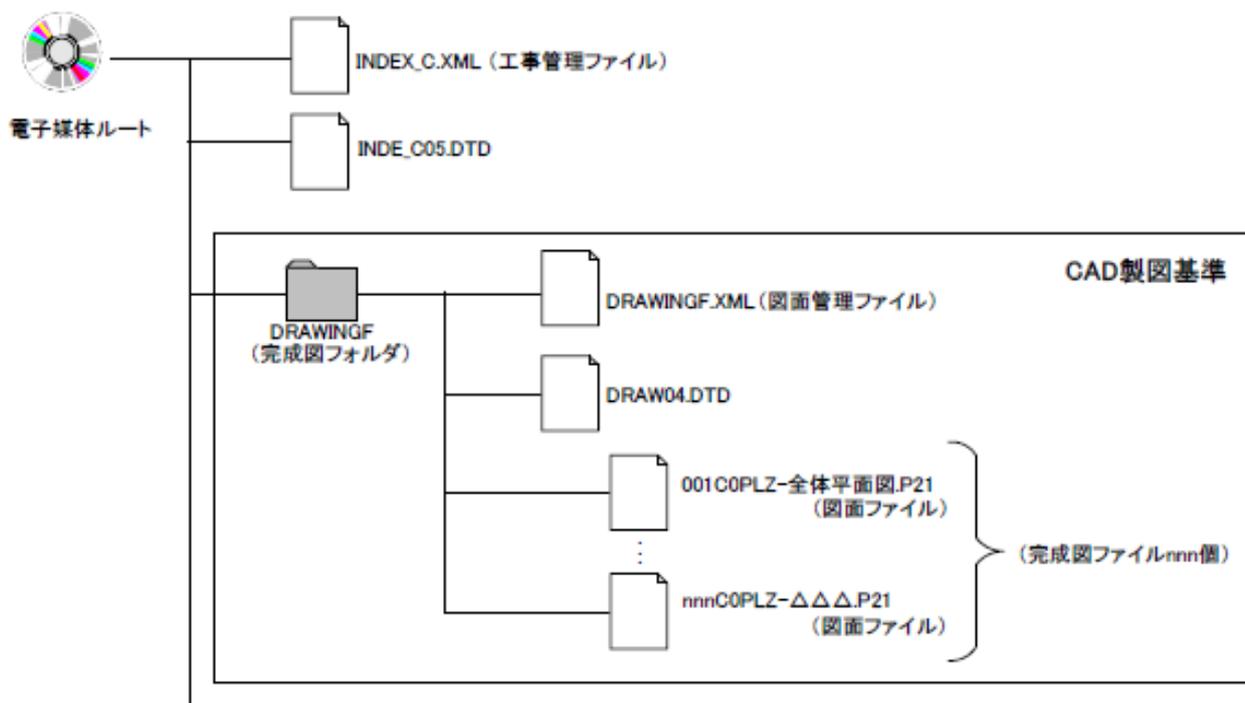


図 電子媒体に格納される図面ファイルの格納イメージ例(土木工事)  
 出典 国土交通省 (盛岡市においては、「P21」を「SFC」へ置換えます。)

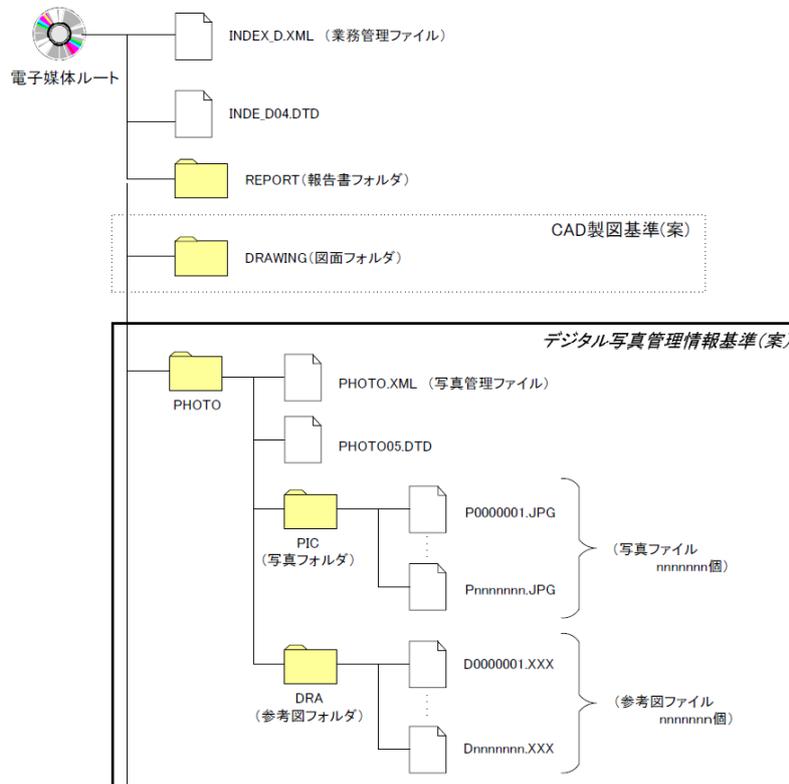


図 電子媒体に格納される写真ファイルの格納イメージ例(土木業務委託)  
 出典 国土交通省(現行基準は、デジタル写真管理情報基準となります。)

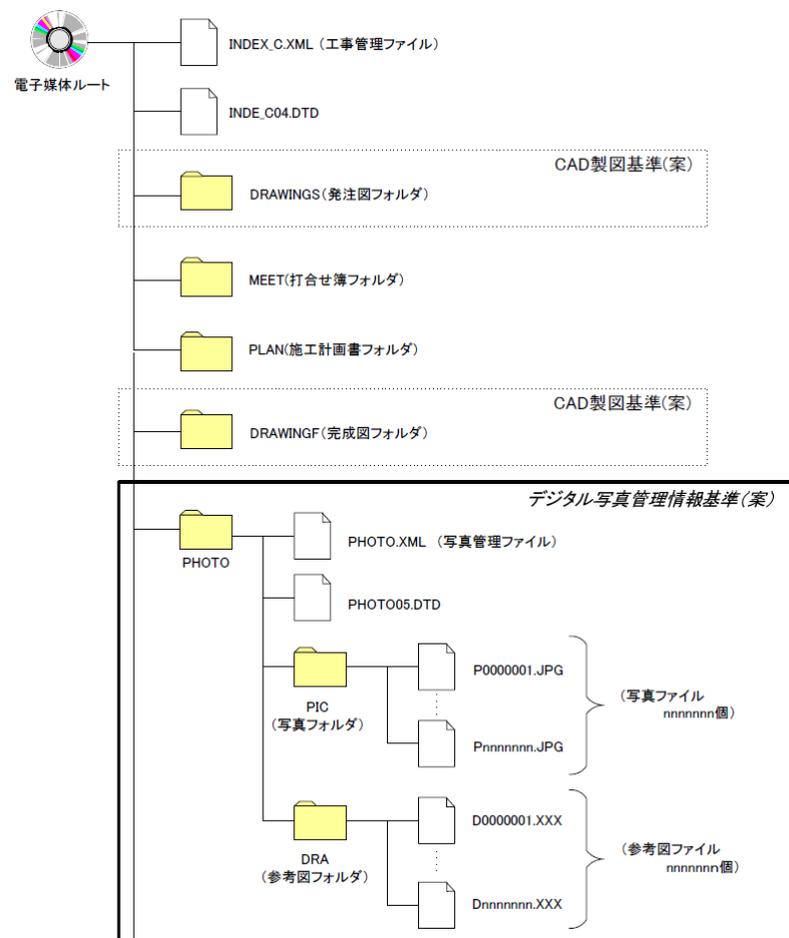


図 電子媒体に格納される写真ファイルの格納イメージ例(土木工事)  
 出典 国土交通省(現行基準は、デジタル写真管理情報基準となります。)

## (2) 建築営繕における業務・工事

### ア フォルダ命名規則(参考)

- (ア) 報告書フォルダ名は、「REPORT」とする。
- (イ) 報告書オリジナルファイルフォルダ名「ORG (REPORT に格納)」とする。
- (ウ) 図面フォルダ名(業務)は、「DRAWING」とする。
- (エ) 図面オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (DRAWING に格納)」とする。
- (オ) 完成図フォルダ名(工事)は、「DRAWINGF」とする。
- (カ) 完成図オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (DRAWINGF に格納)」とする。
- (キ) 保全に関する資料フォルダ名は、「MAINT」とする。
- (ク) 保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (MAINT に格納)」とする。
- (ケ) 施工計画書フォルダ名は、「PLAN」とする。
- (コ) 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (PLAN に格納)」とする。
- (サ) 工程表フォルダ名は、「SCHEDULE」とする。
- (シ) 工程表オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (SCHEDULE に格納)」とする。
- (ス) 施工計画書フォルダ名は、「PLAN」とする。
- (セ) 施工計画書オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (PLAN に格納)」とする。
- (ソ) 機材関係資料フォルダ名は、「MATERIAL」とする。
- (タ) 機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名「ORG (MATERIAL に格納)」とする。
- (チ) 施工関係資料フォルダ名は、「PROCESS」とする。
- (ツ) 施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (PROCESS に格納)」とする。
- (テ) 検査関係資料フォルダ名は、「INSPECT」とする。
- (ト) 検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (INSPECT に格納)」とする。
- (ナ) 発生材関係資料フォルダ名は、「SALVAGE」とする。
- (ニ) 発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名は、「ORG (SALVAGE に格納)」とする。
- (ヌ) その他資料フォルダは、「OTHR」とする。
- (ネ) その他資料オリジナルファイルフォルダは、「ORG (OTHR に格納)」とする。

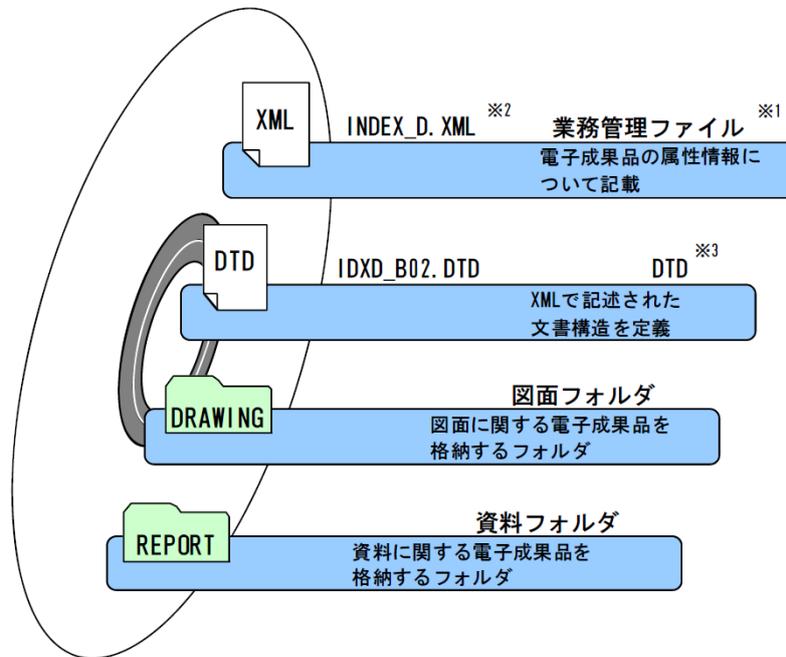


図 電子媒体に格納される電子成果品のイメージ例(建築営繕業務委託) 出典 国土交通省

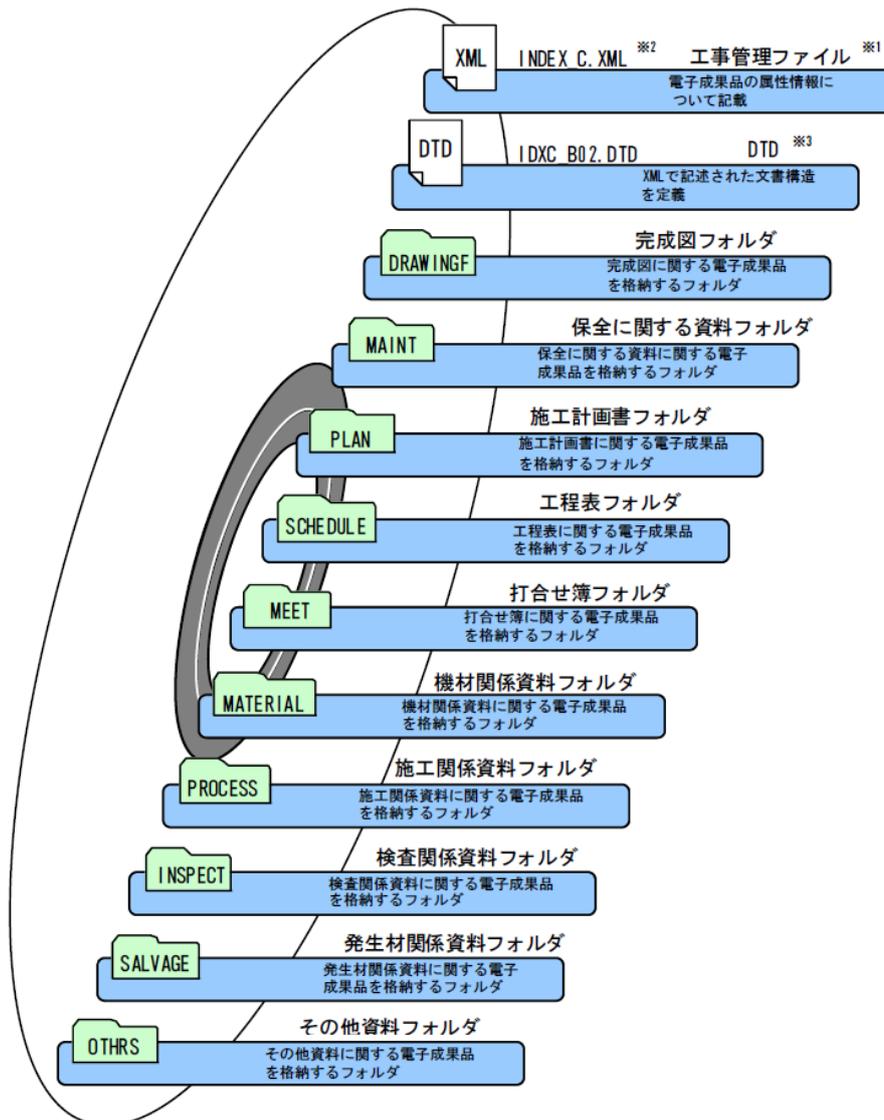


図 電子媒体に格納される電子成果品のイメージ例(建築営繕工事) 出典 国土交通省

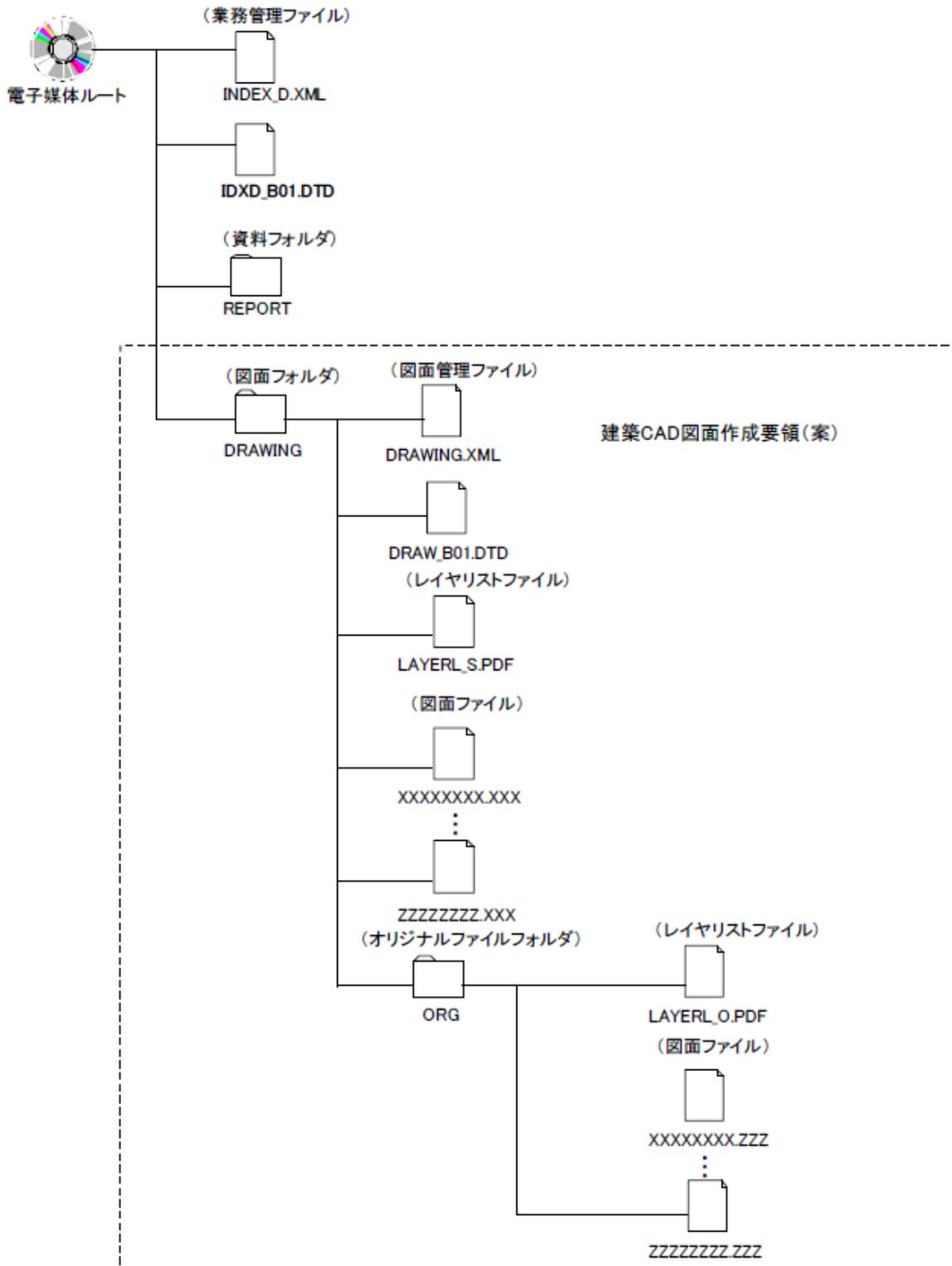


図 電子媒体に格納される図面ファイルの格納イメージ例(建築営繕業務委託)

出典 国土交通省

(盛岡市においては、「IDX\_D\_B01.DTD」を「IDX\_D\_B02.DTD」へ、「DRAW\_B01.DTD」を「DRAW\_B02.DTD」へ置換えます。)

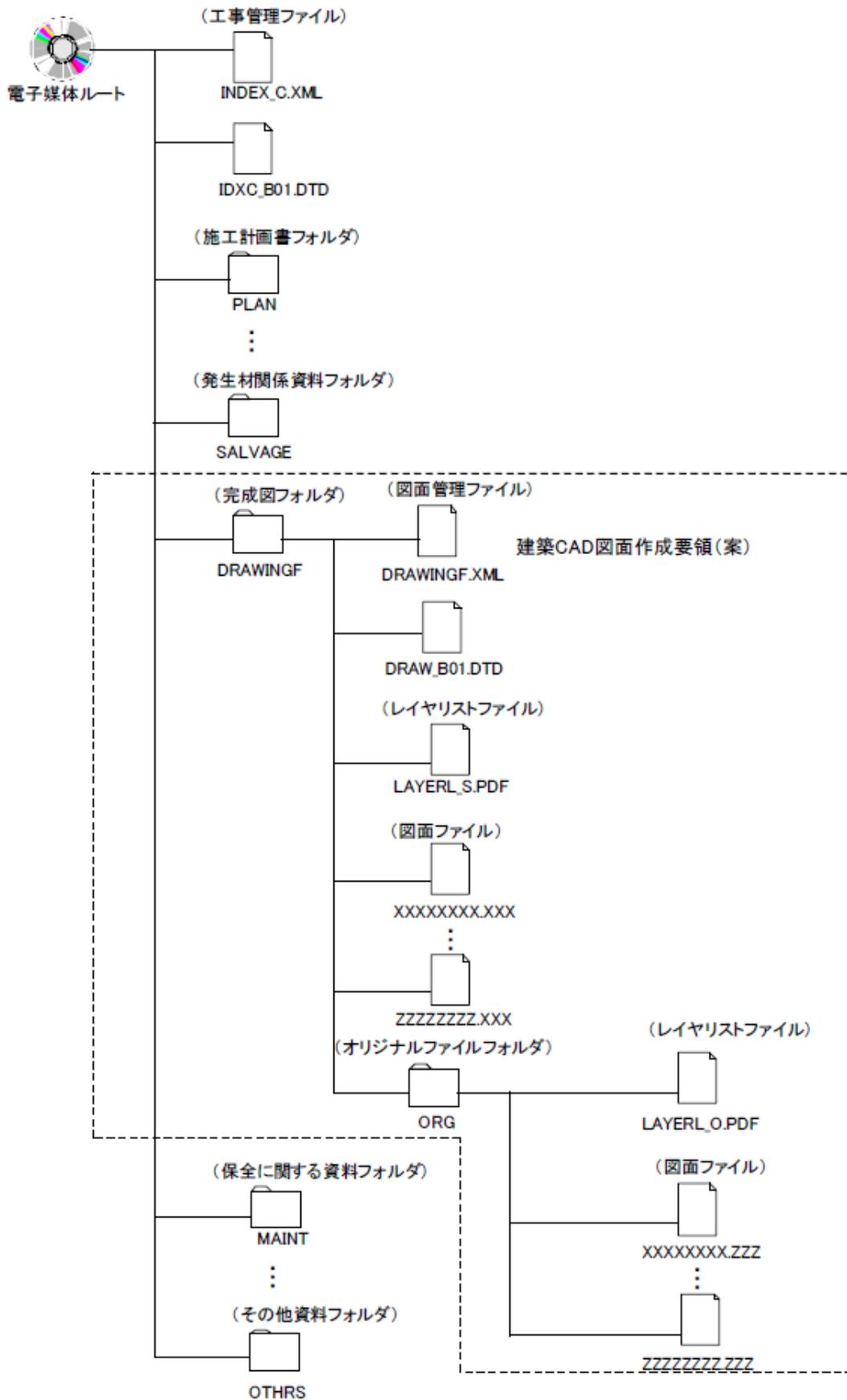


図 電子媒体に格納される図面ファイルの格納イメージ例(建築営繕工事)

出典 国土交通省

(盛岡市においては、「IDXC\_B01.DTD」を「IDXC\_B02.DTD」へ、「DRAW\_B01.DTD」を「DRAW\_B02.DTD」へ置換えます。)

## イ ファイル命名取扱規則

ファイル文字数は、8文字以下とし、使用する文字は、半角大文字の英字、半角数字及び「\_」(アンダーバー)とする。ファイル名は、工事完成図を例とすると「△△001. 拡張子, △△002. 拡張子・・・」とする。この場合において、△△の部分は以下の表を標準とする。

工種	一括の場合	分割する場合
建築工事	BU (建築 BUILDING の意)	AD(意匠)
		ST(構造)
電気設備工事	EL (電気 ELECTRICITY の意)	HE(強電)
		LE(弱電)
機械設備工事	MA (機械 MACHINE の意)	AC(空調)
		PE(衛生)

(管理ファイル作成における盛岡市独自の入力項目)

第9 管理ファイルにおける盛岡市独自の記載内容は、以下を原則とし、将来の維持管理等に利用できるよう、明瞭かつ詳細にわたって作成するものとする。

### (1) 業務番号・設計書コード・工事番号

契約書に掲載されている番号(入札情報公開システムの契約管理番号)を半角数字(下6桁)で記入する。掲載されていないときは、特に定めのない限り「999999」とする。

### (2) 発注者コード(適用年における発注者コード(TECRIS・CORINS)に準拠すること。)

ア 業務 盛岡市を示す「50301201」又は「20302201」を半角数字で入力する。

イ 工事 盛岡市を示す「50301201」を半角数字で入力する。

### (3) 受注者コード

財政部契約検査課で設定する盛岡市競争入札参加資格者名簿番号(4桁)を半角数字で入力する。名簿に掲載されていない者は、特に定めのない限り「9999」とする。

### (4) 住所コード

盛岡市を示す「03201」を半角数字で入力する。

### (5) 対象水系路線コード

#### ア 水系(例)

北上川水系にあつては、28204(29204)を、盛岡市が管理を行う普通河川にあつては、11000を、盛岡市が管理を行う準用河川にあつては、12000を入力する。

#### イ 路線(例)

一般国道にあつては、23nnn(例 国道4号 23004)を、主要地方道にあつては、24000を、一般県道にあつては、26000を、盛岡市道、農道又は林道にあつては、29000を入力する。

#### ウ その他

主たる事業が、下水道、公園、宅地造成、換地設計その他「水系」又は「路線」に該当しない事業にあつては、99999(その他)を入力する。

(6) 施設識別コード・建築物識別コード

建築営繕における施設識別コード及び建築物識別コードは、施設及び建築物を管理する施設番号等を入力すること。不明の場合は、監督員へ確認すること。

(TECRIS・CORINS の入力について)

第 10 電子成果品との整合性を図るため、共通仕様書等の規定に基づく TECRIS 及び CORINS の入力について、以下のとおり統一することが望ましい。

(1) 設計書コード

契約書に掲載されている番号(入札情報公開システムの契約管理番号)の 6 桁(下 6 桁)を入力するものとする。

(2) 調査職員又は監督員へのメールの承諾

移動コスト縮減等のため、登録時のメールの承諾を「有り」とする。

(電子納品特記仕様書)

第 11 発注者が、発注時に示す電子納品特記仕様書の様式は、以下を標準とする。

## 電子納品特記仕様書〔業務〕

### 1 適用

本業務は、電子納品の対象業務とする。

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品するものとする」をいう。ここでいう電子成果品とは、盛岡市電子納品ガイドライン(案)(以下、「ガイドライン」という。)に基づいて作成した電子データを指す。

### 2 電子納品実施区分

本業務における電子納品の実施区分は、次のとおりとする。

- |  |
|--|
| <p>( )本業務は、電子納品を「義務」として実施する。</p> <p>( )本業務は、電子納品の実施を受発注者間の「協議」により決定する。</p> |
|--|

※いずれかに「○」を記入するものとする

### 3 電子納品対象書類

〔土木、農業農村整備、治山林道関係〕

本業務において、電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は、下表のとおりとする。

フォルダー名	書類名	作成者		備考
		発注者	受注者	
REPORT	報告書		○	
DRAWING	図面		○	
PHOTO	写真		○	
SURVEY	測量		○	
BORING	地質		○	

※ 作成者欄の「○」は義務を示す。

※ 上記以外の書類については、受発注者間の協議によって決定する。

※ ガイドラインで定めているものの他に、電子納品が必要な書類がある場合は、上表に記載するものとする。

〔建築関係(建築設備を含む。)]

本業務において、電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は、下表のとおりとする。

フォルダー名	書類名	作成者		備考	
		発注者	受注者		
REPORT	基本設計	設計概要		○	
		設計方針		○	
		工事費概算書		○	
		その他の資料		○	
	実施設計	設計計算書		○	
		構造計算書		○	
		設備計算書		○	
		数量積算書		○	
		工事内訳明細書		○	
		仕様書		○	
		現場説明書		○	
		その他の資料		○	
	DRAWING	設計図		○	

※ 作成者欄の「○」は義務、「△」は協議を示す。

※ 上記以外の書類については、受発注者間の協議によって決定する。

※ ガイドラインで定めているものの他に、電子納品が必要な書類がある場合は、上表に記載するものとする。

- 4 電子成果品は、ガイドラインに基づいて作成し、電子媒体(CD-R 又は DVD-R)で2部提出するものとする。
- 5 電子成果品を提出する際は、電子納品チェックシステム・SXF ブラウザ等による成果品のチェックを行い、エラー及び誤りがないことを確認するとともに、確実にウイルスチェックを実施したうえで提出するものとする。
- 6 電子成果品を提出する際には、「電子媒体納品書」を作成し、電子媒体と併せて提出するものとする。

## 電子納品特記仕様書〔工事〕

### 1 適用

本工事は、電子納品の対象工事とする。

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品するものとする」をいう。ここでいう電子成果品とは、盛岡市電子納品ガイドライン(案) (以下、「ガイドライン」という。)に基づいて作成した電子データを指す。

### 2 電子納品実施区分

本工事における電子納品の実施区分は、次のとおりとする。

- 本工事は、電子納品を「義務」として実施する。  
 本工事は、電子納品の実施を受発注者間の「協議」により決定する。

※いずれかに「○」を記入するものとする

#### 〔土木関係〕

なお、本工事において電子納品の実施を「義務」とする工種は、次のとおりとする。

#### 【共通】

- 擁壁工(高さ 5.0m 以上),  函渠工(内空 25 m<sup>2</sup>以上),  橋梁上部工,  
 橋梁下部工,  杭基礎,  グランドアンカー,  ロックボルト

#### 【道路・街路】

- トンネル,  落石防止柵,  雪崩防止柵,  電線共同溝,  消融雪設備,  
 道路情報盤,  ロック(スノー)シェッド,  ロック(スノー)シェルター

#### 【河川】

- 堰(高さ 3.0m 以上),  水門,  樋門(高さ 3.0m 以上)

#### 【砂防】

- 砂防堰堤,  床固工,  地すべり施設,  急傾斜施設(高さ 2.0m 未満を除く)

#### 【下水道】

- 管路,  処理場・ポンプ場

#### 【その他】

- [ ]

※ 該当する工種に○を記入するものとする。

※ ガイドラインで定めている工種のほか、電子納品が必要な工種がある場合は、【その他】欄に記載するものとする。

## 2 電子納品対象書類

〔土木，農業農村整備，治山林道関係〕

本工事において，電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は，次のとおりとする。

フォルダー名 (サブフォルダー名)	書類名	作成者		備考
		発注者	受注者	
DRAWINGS	発注図面	△		
DRAWINGS/SPEC	特記仕様書	○		PDF 形式
MEET/ORG	工事打合簿，出来形管理 品質管理等		△	
	建設材料の品質記録保存		△	岩手県土木工事共通特記仕様書 第 3 編 1-1-4 に示すもののみ対 象とする
	コンクリート構造物の品質確保		△	岩手県土木工事共通特記仕様書 第 1 編 3-1-2 に示すもののみ対 象とする
PLAN/ORG	施工計画書		△	
DRAWINGF	完成図		△	SFC 形式
PHOTO/PIC	工事写真書類		○	JPEG 形式
PHOTO/DRA	参考図		△	
OTHARS/ORG	その他の資料	△	△	

※ 作成者欄の「○」は義務，「△」は協議を示す。

※ 上記以外の書類については，受発注者間の協議によって決定する。

※ ガイドラインで定めているものの他に，電子納品が必要な書類がある場合は，上表に記載するものとする。

〔機械設備関係〕

本工事において，電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は，次のとおりとする。

フォルダー名 (サブフォルダー名)	書類名	作成者		備考
		発注者	受注者	
DRAWINGS	発注図面	△		
DRAWINGS/SPEC	特記仕様書	○		PDF 形式
MEET/ORG	工事打合簿 出来形管理 品質管理 等		△	
PLAN/ORG	施工計画書		△	

DRAWINGF	完成図		○	SFC 形式
K. BOOK/ B. SPC, B. CHECK, B. INST, B. DEVICE B. EXAM, B. MANUAL	完成図書 実施仕様書, 計算書 施工図面, 機器図 施工管理記録書, 取扱説明書		△	
K. DRAW/ D. LDR, D. SPC D. CHECK, D. DRAWF D. DEVICE, D. EXAM D. MANUAL	施工図 台帳, 実施仕様書 計算書, 施工図面 機器図, 施工管理記録書 取扱説明書		△	
PHOTO/PIC	工事写真書類		○	JPEG 形式
PHOTO/DRA	参考図			
OTHARS/ORG	その他の資料	△	△	

※ 作成者欄の「○」は義務, 「△」は協議を示す。

※ 上記以外の書類については, 受発注者間の協議によって決定する。

※ ガイドラインで定めているものの他に, 電子納品が必要な書類がある場合は, 上表に記載するものとする。

#### [電気通信設備関係]

本工事において, 電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は, 次のとおりとする。

フォルダー名 (サブフォルダー名)	書類名	作成者		備考
		発注者	受注者	
DRAWINGS	発注図面	△		
MEET/ORG	工事打合簿, 出来形管理 品質管理等		△	
PLAN/ORG	施工計画書		△	
DRAWINGF	完成図		○	SFC 形式
PHOTO/PIC	工事写真書類		○	JPEG 形式
PHOTO/DRA	参考図		△	
OTHARS/ORG	その他の資料	△	△	

※ 作成者欄の「○」は義務, 「△」は協議を示す。

※ 上記以外の書類については, 受発注者間の協議によって決定する。

※ ガイドラインで定めているものの他に, 電子納品が必要な書類がある場合は, 上表に記載するものとする。

〔建築関係(建築設備を含む。)]

本工事において、電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は、次のとおりとする。

フォルダー名	書類名	作成者		備考
		発注者	受注者	
工事写真			○	JPEG 形式

フォルダー名	書類名	作成者		備考	
		発注者	受注者		
PLAN	施工計画書	総合施工計画書		△	
		工種別施工計画書		△	
SCHEDULE	工程表	マスター工程表		△	
		月間工程表		△	
MEET	打合簿	工事打合せ記録		△	
MATERIAL	機材関係資料	試験計画書		△	
		試験成績書		△	
		品質証明書		△	
		調合表		△	
		規格証明書		△	
PROCESS	施工関係資料	試験計画書		△	
		試験成績書		△	
		出来高管理図		△	
INSPECT	検査関係資料	完成検査記録		△	
SALVAGE	発生材関係資料	発生材調書		△	
		処理報告書		△	
DRAWINGF	完成図	完成図		○	SFC 形式
MAINT	保全に関する資料	保全に関する説明書		△	
		官公署届出書類		△	
		備品リスト		△	
OTHERS	施工図	施工図		△	
	完成写真	完成写真		○	JPEG 形式
	その他の資料			△	

※ 作成者欄の「○」は義務、「△」は協議を示す。

※ 上記以外の書類については、受発注者間の協議によって決定する。

※ ガイドラインで定めているものの他に、電子納品が必要な書類がある場合は、上表に記載するものとする。

- 4 電子成果品は、ガイドラインに基づいて作成し、電子媒体(CD-R 又は DVD-R)で2部提出するものとする。
- 5 電子成果品を提出する際は、電子納品チェックシステム、SXF ブラウザ等による成果品のチェックを行い、エラー及び誤りがないことを確認するとともに、確実にウイルスチェックを実施したうえで提出するものとする。
- 6 電子成果品を提出する際には、「電子媒体納品書」を作成し、電子媒体と併せて提出するものとする。

## 第12 (事前協議チェックシート)

業務又は工事着手時に受発注者間で協議を行うときに利用する事前協議チェックシートの様式は、以下を標準とする。

### 事前協議チェックシート〔業務〕

#### 1 協議実施日等

協議実施日	平成	年	月	日
出席者	発注者			
	受注者			

#### 2 電子納品の取扱い

##### (1) 電子納品実施区分

項目	チェック	実施区分
電子納品実施区分	○	電子納品を実施（部分的に実施する場合も含む）
		従来どおり紙納品で実施

※ チェック欄は、いずれか該当する区分に「○」を記入すること。

##### (2) 電子納品対象書類

〔土木、農業農村整備、治山林道、上下水道局土木関係〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
REPORT		報告書		○	
DRAWING		図面		○	
PHOTO		写真		○	
SURVEY		測量		○	
BORING		地質		○	

※ チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

〔建築関係〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
REPORT	基本設計	設計概要		○	
		設計方針		○	
		工事費概算書		○	
		その他の資料		○	
	実施設計	設計計算書		○	
		構造計算書		○	
		設備計算書		○	
		数量積算書		○	
		工事内訳明細書		○	
		仕様書		○	
		現場説明書		○	
		その他の資料		○	
DRAWING	設計図	設計図		○	

※ チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

### 3 施行中における情報交換の手段

項目	チェック	確認内容
電子メールの利用		情報交換に電子メールを利用する
		情報交換に電子メールを利用しない
電子メールを利用する場合の確認事項		受信確認の徹底
		ファイル容量（1通当り30MB以下）
		ファイル命名規則〔 〕
		ログの保存
		ウイルスチェック，セキュリティーパッチ適用の徹底

※ チェック欄は，該当する項目に「○」を記入すること。

### 4 電子納品データの作成/確認ソフト及びファイル形式の確認

項目	チェック	確認内容
報告書・打合せ簿等の文書データ		Microsoft社 Word2000に対応したファイル形式
表計算データ		Microsoft社 Excel2000に対応したファイル形式
CADデータ		SXF（SFC）形式
写真等の画像データ		JPEG形式〔但し参考図はTIFF（G4）形式でも可とする〕
その他全般		PDF形式
上記形式以外で，使用するファイル形式		〔 〕
		〔 〕

※ チェック欄は，該当する項目に「○」を記入すること。

※ CADデータは，SXF レベル2 Ver2.0以上に対応したCADソフトで作成すること。なお，SXF（SFC）に対応できない場合については，発注者の承諾を得た上でその他の形式で作成してもよい。

### 5 国の要領等の確認

区分	チェック	国の要領等
土木，治山林道， 上下水道局土木 関係	【土木】	工事完成図書の電子納品等要領
		土木設計業務等の電子納品要領
		CAD製図基準
		デジタル写真管理情報基準
		測量成果電子納品要領
	【電気】	地質・土質調査成果電子納品要領
		土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編
		工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編
		CAD製図基準 電気通信設備編
		土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編
【機械】	工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編	
	CAD製図基準 機械設備工事編	
	盛岡市建築工事等電子納品要領・営繕工事電子納品要領	
	建築設計業務等電子納品要領	
	建築CAD図面作成要領（案）	
建築関係		工事写真の撮り方（建築編・建築設備編）
	【土木】	設計業務等の電子納品要領（案）
		工事完成図書の電子納品要領（案）
		電子化図面データの作成要領（案）
		電子化写真データの作成要領（案）
		測量成果電子納品要領（案）
		地質・土質調査成果電子納品要領（案）
	【電気】	設計業務等の電子納品要領（案） 電気通信設備編
		工事完成図書等の電子納品要領（案） 電気通信設備編
		電子化図面データの作成要領（案） 電気通信設備編
	【機械】	設計業務等の電子納品要領（案） 機械設備工事編
		工事完成図書等の電子納品要領（案） 機械設備工事編
		電子化図面データの作成要領（案） 機械設備工事編

※ チェック欄は，該当する項目に「○」を記入すること。

## 6 施行中のデータ保管方法

項目	チェック	確認内容
通常データを保管する機器		機器名 [ ]
		容量 [ GB・MB]
データのバックアップを行う機器		機器名 [ ]
		容量 [ GB・MB]
バックアップを行う時期		時期 [ 日ごと]

※ 対応する項目の確認内容を記入した上で、チェック欄に「○」を記入すること。

## 7 その他

項目	チェック	確認内容

※ 項目及び確認内容に必要な事項を記入した上で、チェック欄に「○」を記入すること。

## 事前協議チェックシート〔工事〕

### 1 協議実施日等

協議実施日		平成	年	月	日
出席者	発注者				
	受注者				

### 2 電子納品の取扱い

#### (1) 電子納品実施区分

項目	チェック	実施区分
電子納品実施区分		義務とするもののみ電子納品を実施
		義務以外についても、協議により電子納品を実施
		従来どおり紙納品で実施

※ チェック欄は、いずれか該当する区分に「○」を記入すること。

なお、本工事において電子納品の実施を「義務」とする工種は、下表のとおりとする。

〔土木関係〕

分類	チェック	工種
【共通】		擁壁工（高さ5.0m以上）
		函渠工（内空26㎡以上）,
		橋梁上部工
		橋梁下部工
		杭基礎
		グラウンドアンカー
【道路・街路】		ロックボルト
		トンネル
		落石防止柵
		雪崩防止柵
		電線共同溝
		消融雪設備
		道路情報盤
		ロック（スノー）シェッド
【河川】		ロック（スノー）シェルター
		堰（高さ3.0m以上）
		水門
【砂防】		樋門（高さ3.2m以上）
		砂防堰堤
		床固工
		地すべり施設
【下水道】		急傾斜施設（高さ2.0m未満を除く）
		管路
【その他】		処理場・ポンプ場
		[ ]
		[ ]

※ チェック欄は、該当する工種に「○」を記入すること。

## (2) 電子納品対象書類

〔土木、農業農村整備、治山林道、上下水道局土木関係〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
DRAWINGS		発注図面	△		
DRAWINGS/SPEC		特記仕様書	○		
MEET/ORG		工事打合せ簿		△	
		出来形管理		△	
		品質管理		△	
		建設材料の品質記録保存		○(※1)	
		コンクリート構造物の品質確保		○(※2)	
PLAN/ORG		施工計画書		△	
DRAWINGF		完成図		○(※3)	
PHOTO/PIC		工事写真書類		○	
PHOTO/DRA		参考図		△	
OTHARS/ORG		その他の資料		△	

※1 建設材料の品質記録保存は、土木工事共通特記仕様書 第3編1-1-4に示すもののみ対象とする

※2 コンクリート構造物の品質確保は、(1)において「義務」と定めた工種以外については、「協議」とする

※3 完成図は、(1)において「義務」と定めた工種以外については、「協議」とする。

※4 チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

〔機械設備関係〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
DRAWINGS		発注図面	△		
DRAWINGS/SPEC		特記仕様書	○		
MEET/ORG		工事打合せ簿		△	
		出来形管理			
		品質管理 等			
PLAN/ORG		施工計画書		△	
DRAWINGF		完成図		○(※1)	
K. BOOK/ B. SPC, B. CHECK, B. INST, B. DEVICE B. EXAM, B. MANUAL		完成図書／		△	
		実施仕様書, 計算書			
		施工図面, 機器図			
		施工管理記録書, 取扱説明書			
K. DRAW/ D. LDR, D. SPC D. CHECK, D. DRAWF D. DEVICE, D. EXAM D. MANUAL		施工図／		△	
		台帳, 実施仕様書			
		計算書, 施工図面			
		機器図, 施工管理記録書			
		取扱説明書			
PHOTO/PIC		工事写真書類		○	
PHOTO/DRA		参考図		△	
OTHARS/ORG		その他の資料		△	

※1 完成図は、(1)において「義務」と定めた工種以外については、「協議」とする。

※2 チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

〔電気通信設備関係〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
DRAWINGS		発注図面	△		
MEET/ORG		工事打合せ簿 出来形管理 品質管理 等		△	
PLAN/ORG		施工計画書		△	
DRAWINGF		完成図		△	
PHOTO/PIC		工事写真書類		○	
PHOTO/DRA		参考図		△	
OTHARS/ORG		その他の資料		△	

※1 完成図は、(1)において「義務」と定めた工種以外については、「協議」とする。

※2 チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

〔建築関係：工事写真〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
工事写真				○	

※ チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

〔建築関係：工事写真以外〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
PLAN	施工計画書	総合施工計画書		△	
		工種別施工計画書		△	
SCHEDULE	工程表	マスター工程表		△	
		月間工程表		△	
MEET	打合せ簿	工事打合せ記録		△	
MATERIAL	機材関係資料	試験計画書		△	
		試験成績書		△	
		品質証明書		△	
		調合表		△	
		規格証明書		△	
PROCESS	施工関係資料	試験計画書		△	
		試験成績書		△	
		出来高管理図		△	
INSPECT	検査関係	完成検査記録		△	
SALVAGE	発生材関係資料	発生材調書		△	
		処理報告書		△	
DRAWINGF	完成図	完成図		○	
MAINT	保全に関する資料	保全に関する説明書		△	
		官公署届出書類		△	
		備品リスト		△	
OTHERS	施工図	施工図		△	
	完成写真	完成写真		○	
	その他			△	

※ チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

### 3 施行中における情報交換の手段

項目	チェック	確認内容
電子メールの利用		情報交換に電子メールを利用する
		情報交換に電子メールを利用しない
電子メールを利用する場合の確認事項		受信確認の徹底
		ファイル容量（1通当り30MB以下）
		ファイル命名規則〔 〕
		ログの保存
		ウイルスチェック，セキュリティーパッチ適用の徹底

※ チェック欄は，該当する項目に「○」を記入すること。

### 4 電子納品データの作成/確認ソフト及びファイル形式の確認

項目	チェック	確認内容
報告書・打合せ簿等の文書データ		Microsoft社 Word2000に対応したファイル形式
表計算データ		Microsoft社 Excel2000に対応したファイル形式
CADデータ		SXF（SFC）形式
写真等の画像データ		JPEG形式〔但し参考図はTIFF（G4）形式でも可とする〕
その他全般		PDF形式
上記形式以外で，使用するファイル形式		〔 〕
		〔 〕

※ チェック欄は，該当する項目に「○」を記入すること。

※ CADデータは，SXF レベル2 Ver2.0以上に対応したCADソフトで作成すること。なお，SXF（SFC）に対応できない場合については，発注者の承諾を得た上でその他の形式で作成してもよい。

### 5 国の要領等の確認

区分	チェック	国の要領等
土木，治山林道， 上下水道局土木 関係	【土木】	工事完成図書の電子納品等要領
		土木設計業務等の電子納品要領
		CAD製図基準
		デジタル写真管理情報基準
		測量成果電子納品要領
	【電気】	地質・土質調査成果電子納品要領
		土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編
		工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編
		CAD製図基準 電気通信設備編
		土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編
【機械】	工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編	
	CAD製図基準 機械設備工事編	
	盛岡市建築工事等電子納品要領・営繕工事電子納品要領	
	建築設計業務等電子納品要領	
	建築CAD図面作成要領（案）	
建築関係		工事写真の撮り方（建築編・建築設備編）
	【土木】	設計業務等の電子納品要領（案）
		工事完成図書の電子納品要領（案）
		電子化図面データの作成要領（案）
		電子化写真データの作成要領（案）
		測量成果電子納品要領（案）
		地質・土質調査成果電子納品要領（案）
	【電気】	設計業務等の電子納品要領（案） 電気通信設備編
		工事完成図書等の電子納品要領（案） 電気通信設備編
		電子化図面データの作成要領（案） 電気通信設備編
	【機械】	設計業務等の電子納品要領（案） 機械設備工事編
		工事完成図書等の電子納品要領（案） 機械設備工事編
		電子化図面データの作成要領（案） 機械設備工事編

※ チェック欄は，該当する項目に「○」を記入すること。

## 6 施行中のデータ保管方法

項目	チェック	確認内容
通常データを保管する機器		機器名 [ ]
		容量 [ GB・MB]
データのバックアップを行う機器		機器名 [ ]
		容量 [ GB・MB]
バックアップを行う時期		時期 [ 日ごと]

※ 対応する項目の確認内容を記入した上で、チェック欄に「○」を記入すること。

## 7 その他

項目	チェック	確認内容

※ 項目及び確認内容に必要な事項を記入した上で、チェック欄に「○」を記入すること。

(電子媒体納品書)

第 13 受注者が、電子媒体と共に提出する電子媒体納品書は、以下を標準とする。

### 電子媒体納品書〔業務・工事〕

年 月 日

(あて名) 様

受注者  
住 所  
氏 名 (代表者) 印

下記のとおり電子媒体を納品します。

記

業務・工事名				AGRIS・TECRIS・CORINS 登録番号	
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月	備考
CD-R	Joliet	部		年 月	
DVD-R	UDF (UDF Bridge)	部		年 月	

〔備考〕

- 電子納品チェックシステムによるチェック
  - ・電子チェックシステムのバージョン：\_\_ . \_\_ . \_\_
  - ・チェック実施年月日： \_\_年\_\_月\_\_日
- CD-R・DVD-R が複数となる場合のそれぞれの内容
  - ・1/○：\_\_
  - ・2/○：\_\_

(業務及び工事における管理ファイル)

第14 次に業務及び工事における管理ファイルの一例を示す。管理ファイルの詳細は、国の要領等を確認し、作成するものとする(一般的に、市販されている電子納品管理ソフトで作成を行います。)

(1) 土木・農業土木設計業務等の電子納品要領(案)に沿った管理ファイルの一例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE gyomudata SYSTEM "INDE_D04.DTD" []>
<!--(必須項目)DTD ファイルのバージョンを入力するものとする(現行は「04」)。-->
<gyomudata DTD_version="04">
  <基礎情報>
    <!--(必須項目)メディア番号は、提出した電子媒体の通し番号を入力するものとする。単一の電子媒体であれば1となる。-->
    <メディア番号>1</メディア番号>
    <!--(必須項目)メディア総枚数は、提出した電子媒体の総枚数を入力するものとする。-->
    <メディア総枚数>1</メディア総枚数>
    <!--(必須項目)適用要領基準は、国土交通省・農林水産省で定めた要領・基準の版を入力するものとする。-->
    <適用要領基準>土木 201603-01</適用要領基準>
    <!--(任意項目)報告書フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <報告書フォルダ名>REPORT</報告書フォルダ名>
    <!--(任意項目)報告書オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <報告書オリジナルファイルフォルダ名>REPORT/ORG</報告書オリジナルファイルフォルダ名>
    <!--(任意項目)図面フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>
    <!--(任意項目)写真フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
    <!--(任意項目)測量データフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <測量データフォルダ名>SURVEY</測量データフォルダ名>
    <!--(任意項目)地質データフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名>
  </基礎情報>
```

<業務件名等>

<!--(必須項目)業務実績システムバージョン番号は、AGRIS・TECRIS のマニュアル(コード表)のバージョンを入力するものとする。-->

<業務実績システムバージョン番号>4.0</業務実績システムバージョン番号>

<!--(必須項目)業務実績システム登録番号は、AGRIS・TECRIS 登録番号を入力するものとする。AGRIS・TECRIS 登録がない業務は、「0」を入力するものとする。-->

<業務実績システム登録番号>3000041690</業務実績システム登録番号>

<!--(必須項目)設計書コードは、契約書に明記してある番号を入力するものとする。明記の無いものは、「999999」を入力するものとする。-->

<設計書コード>123456</設計書コード>

<!--(必須項目)業務名称は、契約の名称を入力するものとする。-->

<業務名称>市道〇〇線測量設計業務委託</業務名称>

<住所情報>

<!--(必須項目)住所コードは、盛岡市を示す「03201」を入力するものとする。-->

<住所コード>03201</住所コード>

<!--(必須項目)住所は、履行の場所を入力するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<住所>盛岡市〇〇地内</住所>

</住所情報>

<!--(必須項目)履行期間着手日を入力するものとする。必ず 10 桁で入力するものとする。-->

<履行期間-着手>2016-08-01</履行期間-着手>

<!--(必須項目)履行期間完了日を入力するものとする。必ず 10 桁で入力するものとする。-->

<履行期間-完了>2017-03-25</履行期間-完了>

</業務件名等>

<場所情報>

<!--(任意項目)測地系は、国の要領等に従って入力するものとする。原則として、01(世界測地系 2000)又は 02(世界測地系 2011)とするものとする。-->

<測地系>02</測地系>

<水系-路線情報>

<!--(任意項目)対象水系路線コードは、AGRIS・TECRIS の表より選択し入力するものとする(該当しない場合は、99999 を入力するものとする。)-->

<対象水系路線コード>99999</対象水系路線コード>

<!-(任意項目)対象水系路線名は、関連する水系・路線名を入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<対象水系路線名>市道〇〇線</対象水系路線名>

<!-(任意項目)現道-旧道区分は、「現道：1」,「旧道：2」,「新道：3」,「未調査：0」のいずれかを入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<現道-旧道区分>1</現道-旧道区分>

<!-(任意項目)河川コードは、「河川コード仕様書」に準拠し発注者が指示する河川コードを入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<対象河川コード>1234567890</対象河川コード>

<!-(任意項目)左右岸上下線コードは、「河川コード仕様書」に準拠し発注者が指示する河川コードを入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<左右岸上下線コード>01</左右岸上下線コード>

<測点情報>

<!-(任意項目)起点側測点・終点側測点は、mは、3桁で、nは、4桁で入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<起点側測点-n>0015</起点側測点-n>

<起点側測点-m>008</起点側測点-m>

<終点側測点-n>0018</終点側測点-n>

<終点側測点-m>005</終点側測点-m>

</測点情報>

<距離標情報>

<!-(任意項目)起点側距離標。終点側距離標は、3桁で入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>

<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>

<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>

<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>

</距離標情報>

</水系-路線情報>

<境界座標情報>

<!-(必須項目)境界座標情報は、履行の場所の緯度及び経度について、境界座標入力視線サービス等を利用して入力するものとする。-->

<西側境界座標経度>1410916</西側境界座標経度>

<東側境界座標経度>1410916</東側境界座標経度>

<北側境界座標緯度>0394208</北側境界座標緯度>

<南側境界座標緯度>0394208</南側境界座標緯度>

</境界座標情報>

</場所情報>

<施設情報>

<!--(任意項目)施設名称は、発注者と協議し、入力するものとする(市道〇〇線、△△川、××公園、■●処理分区など)。-->

<施設名称>市道〇〇線</施設名称>

</施設情報>

<発注者情報>

<!--(必須項目)発注者機関コードは、「盛岡市」を示す「50301201(20302201)」を入力するものとする。-->

<発注者機関コード>50301201(20302201)</発注者機関コード>

<!--(必須項目)発注者機関事務所名は、「盛岡市」を入力するものとする。-->

<発注者機関事務所名>盛岡市</発注者機関事務所名>

</発注者情報>

<受注者情報>

<!--(必須項目)受注者名を入力するものとする。-->

<受注者名>〇〇建設コンサルタント株式会社</受注者名>

<!--(必須項目)受注者コードは、盛岡市役所財政部契約検査課から送付のある盛岡市競争入札参加資格者名簿(4桁)を入力するものとする。-->

<受注者コード>1234</受注者コード>

</受注者情報>

<業務情報>

<!--(必須項目)主な業務の内容は、AGRIS・TECRIS コード表より、主な業務の内容を AGRIS は、「1. 測量業務」「2. 調査業務」「3. 設計業務」「4. 施工計画」「5. 施工管理」「6. 積算」「7. 記録・広報」「8. その他」から選択し番号を入力し、TECRIS は、「1. 調査設計」「2. 地質調査」「3. 測量」「4. その他」から選択し番号を入力するものとする。-->

<主な業務の内容>1</主な業務の内容>

<!--(必須項目)業務分野コードは、AGRIS・TECRIS コード表より選択し入力するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<業務分野コード>0414020</業務分野コード>

<!--(必須項目)業務キーワードは、AGRIS・TECRIS 業務キーワード集より選択し入力するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<業務キーワード>歩道設計</業務キーワード>

<!--(必須項目)業務概要は、業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に入力するものとする。300 文字以内とする。-->

<業務概要>市道〇〇線における歩道設計を実施した。</業務概要>

</業務情報>

<!--(必須項目)予備タグには、必要に応じて最終請負金額、調査・監督職員等を入力するものとする。-->

<予備>最終請負金額 10,000,000 円</予備>

<予備>調査職員 盛岡市役所建設部道路建設課 盛岡太郎</予備>

<予備>管理技術者 〇〇建設コンサルタント株式会社 都南次郎</予備>

<予備>照査技術者 〇〇建設コンサルタント株式会社 玉山三郎</予備>

<予備>下請負人 △△地質株式会社</予備>

<!--(任意項目)ソフトメーカー用 TAG は、特に使用しない。-->

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</gyomodata>

(2) (土木)工事完成図書の電子納品等要領に沿った管理ファイルの一例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "INDE_C05.DTD"[]>
<!--スタイルシート利用の場合は以下の1行を有効とするものとする。-->
<!--?xml-stylesheet type="text/xsl" href="INDE_C05.XSL"?-->
<!--(必須項目)DTD ファイルのバージョンを入力するものとする(現行は「05」)。-->
<constdata DTD_version="05">
  <基礎情報>
    <!--(必須項目)メディア番号は、提出した電子媒体の通し番号を入力するものとする。単一の電子媒体であれば1となる。-->
    <メディア番号>1</メディア番号>
    <!--(必須項目)メディア総枚数は、提出した電子媒体の総枚数を入力するものとする。-->
    <メディア総枚数>1</メディア総枚数>
    <!--(必須項目)適用要領基準は、国土交通省・農林水産省で定めた要領・基準の版を入力するものとする。-->
    <適用要領基準>土木 201603-01</適用要領基準>
    <!--(任意項目)施工計画書フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
    <!--(任意項目)施工計画書オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
    <!--(任意項目)打合せ簿フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
    <!--(任意項目)打合せ簿オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
    <!--(任意項目)写真フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
    <!--(任意項目)工事完成図フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
```

<工事完成図フォルダ名>DRAWINGF</工事完成図フォルダ名>

<!--(任意項目)台帳フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<台帳フォルダ名>REGISTER</台帳フォルダ名>

<台帳オリジナルファイルフォルダ情報>

<!--(任意項目)台帳オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<台帳オリジナルファイルフォルダ名>REGISTER/ORG001</台帳オリジナルファイルフォルダ名>

<!--(任意項目)台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名を作成した場合は、入力するものとする。-->

<台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名>(例)〇〇施設基本データ</台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名>

</台帳オリジナルファイルフォルダ情報>

<!--(任意項目)地質データフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名>

<!--(任意項目)その他フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<その他フォルダ名>OTHR</その他フォルダ名>

<その他オリジナルファイルフォルダ情報>

<!--(任意項目)その他オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG001</その他オリジナルファイルフォルダ名>

<!--(任意項目)その他オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。その他オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。-->

<その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>(例)維持管理システム登録データ</その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>

</その他オリジナルファイルフォルダ情報>

</基礎情報>

<工事件名等>

<!--(必須項目)発注年度は、工事の発注年度を西暦4桁で記入するものとする。-->

<発注年度>2016</発注年度>

<!--(必須項目)工事番号は、契約書に明記してある番号を入力するものとする。番号の無いものは、「999999」を入力するものとする。-->

<工事番号>123456</工事番号>

<!--(必須項目)工事名称は、契約の名称を入力するものとする。-->

<工事名称>市道〇〇線道路改良工事</工事名称>

<!--(必須項目)工事实績システム登録番号は、CORINS センターが発行する受領書に記載される番号を記入するものとする。登録のない工事は「0」を記入するものとする。-->

<工事实績システム登録番号>12345678K</工事实績システム登録番号>

<!--(必須項目)工事分野は、CORINS の「公共事業の分野」に従って記入するものとする。-->

<工事分野>道路</工事分野>

<!--(必須項目)工事業種は、CORINS の「本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種」に従って記入するものとする。-->

<工事業種>土木一式工事</工事業種>

<工種-工法型式>

<!--(必須項目)工種は、CORINS の「工種、工法・型式」の「工種」を記入するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<工種>歩行者系舗装工事</工種>

<!--(必須項目)工法型式は、CORINS の「工種、工法・型式」の「工法・型式」を記入するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<工法型式>歩行者系舗装工</工法型式>

</工種-工法型式>

<住所情報>

<!--(必須項目)住所コードは、盛岡市を示す「03201」を入力するものとする。-->

<住所コード>03201</住所コード>

<!--(必須項目)住所は、工事の場所を入力するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<住所>盛岡市〇〇地内</住所>

</住所情報>

<!--(必須項目)工期開始日を入力するものとする。必ず 10 桁で入力するものとする。-->

<工期開始日>2016-11-01</工期開始日>

<!--(必須項目)工期終了日を入力するものとする。必ず 10 桁で入力するものとする。-->

<工期終了日>2017-03-26</工期終了日>

<!--(必須項目)工事内容は、工事概要及び主工種とその数量を記入するものとする。127 文字以内とする。-->

<工事内容>掘削工 8500m3, 土留め工 2800m2, 埋戻し工 9500m3, 路面覆工 300m2</工事内容>

</工事件名等>

<場所情報>

<!-(任意項目)測地系は、国の要領等に従って入力するものとする。原則として、01(世界測地系 2000)又は02(世界測地系 2011)とするものとする。-->

<測地系>02</測地系>

<水系-路線情報>

<!-(任意項目)対象水系路線コードは、CORINSの路線・水系名等に従って記入するものとする。-->

<対象水系路線名>市道〇〇線</対象水系路線名>

<!-(任意項目)現道-旧道区分は、「現道：1」,「旧道：2」,「新道：3」,「未調査：0」のいずれかを入力するものとする。-->

<現道-旧道区分>1</現道-旧道区分>

<!-(任意項目)河川コードは、「河川コード仕様書」に準拠し発注者が指示する河川コードを入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<対象河川コード>1234567890</対象河川コード>

<!-(任意項目)左右岸上下線コードは、「河川コード仕様書」に準拠し発注者が指示する河川コードを入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<左右岸上下線コード>01</左右岸上下線コード>

<測点情報>

<!-(任意項目)起点側測点・終点側測点は、mは、3桁で、nは、4桁で入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<起点側測点-n>0015</起点側測点-n>

<起点側測点-m>008</起点側測点-m>

<終点側測点-n>0018</終点側測点-n>

<終点側測点-m>005</終点側測点-m>

</測点情報>

<距離標情報>

<!-(任意項目)起点側距離標。終点側距離標は、3桁で入力するものとする。必要の無い業務は、入力しないこと。-->

<起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>

<起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>

<終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>

<終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>

</距離標情報>

</水系-路線情報>

<境界座標情報>

<!--(必須項目)境界座標情報は、工事の場所の緯度及び経度について、境界座標入力視線サービス等を利用して入力するものとする。-->

<西側境界座標経度>1410916</西側境界座標経度>

<東側境界座標経度>1410916</東側境界座標経度>

<北側境界座標緯度>0394208</北側境界座標緯度>

<南側境界座標緯度>0394208</南側境界座標緯度>

</境界座標情報>

</場所情報>

<施設情報>

<!--(任意項目)施設名称は、発注者と協議し、入力するものとする(市道○○線、準用河川△△川、××公園、■■処理分区など)。-->

<施設名称>市道○○線</施設名称>

</施設情報>

<発注者情報>

<!--(必須項目)発注者-大分類は、「盛岡市」を入力するものとする。-->

<発注者-大分類>盛岡市</発注者-大分類>

<!--(必須項目)発注者-中分類は、部等(建設部、都市整備部、上下水道部、教育委員会等)を入力するものとする。-->

<発注者-中分類>建設部</発注者-中分類>

<!--(必須項目)発注者-小分類は、課等(道路建設課、市街地整備課、下水道整備課、教育委員会事務局総務課等)を入力するものとする。-->

<発注者-小分類>道路建設課</発注者-小分類>

<!--(必須項目)発注者機関コードは、「盛岡市」を示す「50301201」を入力するものとする。-->

<発注者コード>50301201</発注者コード>

</発注者情報>

<受注者情報>

<!--(必須項目)受注者名を入力するものとする。-->

<受注者名>○○建設株式会社</受注者名>

<!--(必須項目)受注者コードは、盛岡市役所財政部契約検査課から送付のある盛岡市競争入札参加資格者名簿(4桁)を入力するものとする。-->

<受注者コード>1234</受注者コード>

</受注者情報>

<!--(必須項目)予備タグには、必要に応じて最終請負金額、調査・監督職員等を入力するものとする。-->

<予備>最終請負金額 10,000,000 円</予備>

<予備>監督職員 盛岡市役所建設部道路建設課 盛岡太郎</予備>

<予備>現場代理人 ○○建設株式会社 都南二郎</予備>

<予備>主任技術者 ○○建設株式会社 玉山三郎</予備>

<予備>下請負人 □□舗装株式会社</予備>

<予備>下請負人 △△設備株式会社</予備>

<!--(任意項目)ソフトメーカー用 TAG は、特に使用しない(必要に応じて入力してよい。)-->

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</constdata>

(3) (土木)CAD 製図基準・電子化図面データの作成要領(案)に沿った管理ファイルの一例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW04.DTD"[]>
<!--(必須項目)DTD ファイルのバージョンを入力するものとする(現行は「04」)。-->
<drawingdata DTD_version="04">
  <共通情報>
    <!--(必須項目)適用要領基準は、国土交通省・農林水産省で定めた要領・基準の版を入力するものとする。-->
    <適用要領基準>土木 201703-01</適用要領基準>
    <!--(必須項目)対象工種-数値は、CAD 製図基準・電子化図面データの作成要領(案)で対象とする工種と地質を規定の数値で入力するものとする。複数の工種がある場合は、タグを増やして、入力するものとする。-->
    <対象工種-数値>001</対象工種-数値>
    <追加工種>
      <!--(任意項目)追加対象工種-数値は、定義していない工種を追加する場合は、規定の数値を入力するものとする。複数の工種がある場合は、タグを増やして、入力するものとする。-->
      <追加対象工種-数値>100</追加対象工種-数値>
      <!--(任意項目)追加対象工種-概要は、上記の追加工種の概要を具体的に入力するものとする。複数の工種がある場合は、タグを増やして、入力するものとする。-->
      <追加対象工種-概要>道路, 交差点, 橋梁照明施設詳細設計</追加対象工種-概要>
    </追加工種>
  <サブフォルダ>
    <!--(任意入力)追加サブフォルダ名称は、サブフォルダを作成したときに、サブフォルダ名称を入力するものとする。-->
    <追加サブフォルダ名称>〇〇</追加サブフォルダ名称>
    <!--(任意入力)追加サブフォルダ名称の概要は、上記のサブフォルダの概要を具体的に入力するものとする。-->
    <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇</追加サブフォルダ名称の概要>
  </サブフォルダ>
</共通情報>
```

<図面情報>

<!--※001COLCZ-全体位置図.SFC(COLC001Z.SFC)の入力項目始まり-->

<!--(必須項目)図面名は、表題欄に記述する図面名を入力するものとする。-->

<図面名>位置図</図面名>

<!--(必須項目)図面ファイル名は、国の要領等に則したファイル名を拡張子まで含めて入力するものとする。-->

<図面ファイル名>001COLCZ-全体位置図.SFC(COLC001Z.SFC)</図面ファイル名>

<!--(必須項目)作成者名は、表題欄に記述する受注者名を入力するものとする。-->

<作成者名>〇〇建設会社株式会社</作成者名>

<!--(必須項目)図面ファイル作成ソフトウェア名は、図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて入力するものとする。-->

<図面ファイル作成ソフトウェア名>〇〇CADVer1.0</図面ファイル作成ソフトウェア名>

<!--(必須項目)縮尺は、複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を入力するものとする。-->

<縮尺>1:5000</縮尺>

<!--(必須項目)図面番号は、表題欄に記述する図面番号を入力するものとする。-->

<図面番号>1</図面番号>

<!--(必須項目)対象工種-数値は、CAD 製図基準・電子化図面データの作成要領(案)で対象とする工種と地質を規定の数値で入力するものとする。その他追加工種がある場合は、追加工種を規定の数値を昇順で入力するものとする。-->

<対象工種-数値>001</対象工種-数値>

<!--(必須項目)SFX のバージョンを入力するものとする。-->

<SFX のバージョン>3.0</SFX のバージョン>

<!--(必須項目)SAF ファイル名は、発生する場合は、SAF ファイル名を入力するものとする。SAF ファイルがない場合は「0」と入力するものとする。-->

<SAF ファイル名>0</SAF ファイル名>

<ラスタファイル>

<!--(必須項目)ラスタファイル数は、ファイルの枚数を入力するものとする。ラスタファイルを利用しない場合は「0」と入力するものとする。-->

<ラスタファイル数>1</ラスタファイル数>

<!--(必須項目)ラスタファイル名は、全てのラスタファイル名を入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<ラスタファイル名>001COLCZ-全体位置図.TIF (COLC001Z.TIF)</ラスタファイル名>

</ラスタファイル>

<追加図面種類>

<!-(任意入力)追加図面種類-略語は、CAD製図基準・電子化図面データの作成要領(案)で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<追加図面種類-略語>AA</追加図面種類-略語>

<!-(任意入力)追加図面種類-概要は、上記の追加図面種類の概要を具体的に入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<追加図面種類-概要>説明図</追加図面種類-概要>

</追加図面種類>

<格納サブフォルダ>ROAD1</格納サブフォルダ>

<基準点情報>

<!-(任意入力)測地系は、原則として、01(世界測地系2000)又は02(世界測地系2011)を入力するものとする。-->

<測地系>02</測地系>

<緯度経度>

<!-(任意入力)既知の基準点がある場合、基準点情報を7桁で入力するものとする。不明な場合は、入力しないこと。-->

<基準点情報緯度>0394208</基準点情報緯度>

<基準点情報経度>1410916</基準点情報経度>

</緯度経度>

<平面直角座標>

<!-(任意入力)既知の基準点がある場合、基準点情報を入力するものとする。不明な場合は、入力しないこと。-->

<!-(任意入力)座標系番号は、平面直角座標(19系)の系番号を入力するものとする。なお、盛岡市は、全て10系である。-->

<基準点情報平面直角座標系番号>10</基準点情報平面直角座標系番号>

<!-(任意入力)図面中の1点の平面直角座標(19系)をX・Y座標で入力するものとする。-->

<基準点情報平面直角座標X座標>-8631.188</基準点情報平面直角座標X座標>

<基準点情報平面直角座標Y座標>-35654.746</基準点情報平面直角座標Y座標>

</平面直角座標>

</基準点情報>

<その他>

<新規レイヤ>

<!--(任意入力)新規レイヤ-略語は、選択した工種で定義していないレイヤを追加する場合に、**基準**に準じたレイヤ名称 256 文字以内の半角英数大文字で入力するものとする。-->

<新規レイヤ-略語>○○</新規レイヤ-略語>

<!--(任意入力)新規レイヤ-概要は、追加した新規レイヤに関する内容を入力するものとする。-->

<新規レイヤ-概要>××</新規レイヤ-概要>

</新規レイヤ>

<!--(任意入力)受注者説明文は、受注者側で図面に付けるコメントがある場合を入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<受注者説明文>□□</受注者説明文>

<!--(任意入力)受注者説明文は、発注者側で図面に付けるコメントがある場合を入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<発注者説明文>■ ■</発注者説明文>

<!--(任意入力)予備は、必要に応じて入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<予備>○○</予備>

</その他>

<!--※01COLCZ-全体位置図.SFC(COLC001Z.SFC)の入力項目終わり-->

</図面情報>

<図面情報>

<!--※002C0PLZ.SFC-全体平面図.SFC(C0PL002Z.SFC)の入力項目始まり-->

<!--(必須項目)図面名は、表題欄に記述する図面名を入力するものとする。-->

<図面名>平面図</図面名>

<!--(必須項目)図面ファイル名は、国の要領等に則したファイル名を拡張子まで含めて入力するものとする。-->

<図面ファイル名>002C0PLZ.SFC-全体平面図.SFC(C0PL002Z.SFC)の</図面ファイル名>

<!--(必須項目)作成者名は、表題欄に記述する受注者名を入力するものとする。-->

<作成者名>○○建設会社株式会社</作成者名>

<!--(必須項目)図面ファイル作成ソフトウェア名は、図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて入力するものとする。-->

<図面ファイル作成ソフトウェア名>〇〇CADVer1.0</図面ファイル作成ソフトウェア名>

<!-(必須項目)縮尺は、複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を入力するものとする。-->

<縮尺>1:500</縮尺>

<!-(必須項目)図面番号は、表題欄に記述する図面番号を入力するものとする。-->

<図面番号>2</図面番号>

<!-(必須項目)対象工種-数値は、**CAD 製図基準**・電子化図面データの作成要領(案)で対象とする工種と地質を規定の数値で入力するものとする。その他追加工種がある場合は、追加工種を規定の数値を昇順で入力するものとする。-->

<対象工種-数値>001</対象工種-数値>

<!-(必須項目)SFX のバージョンを入力するものとする。-->

<SXF のバージョン>3.0</SXF のバージョン>

<!-(必須項目)SAF ファイル名は、発生する場合は、SAF ファイル名を入力するものとする。SAF ファイルがない場合は「0」と入力するものとする。-->

<SAF ファイル名>0</SAF ファイル名>

<ラスタファイル>

<!-(必須項目)ラスタファイル数は、ファイルの枚数を入力するものとする。ラスタファイルを利用しない場合は「0」と入力するものとする。-->

<ラスタファイル数>0</ラスタファイル数>

<!-(必須項目)ラスタファイル名は、全てのラスタファイル名を入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<ラスタファイル名></ラスタファイル名>

</ラスタファイル>

<追加図面種類>

<!-(任意入力)追加図面種類-略語は、**CAD 製図基準**・電子化図面データの作成要領(案)で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字 2 文字の略語で入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<追加図面種類-略語></追加図面種類-略語>

<!-(任意入力)追加図面種類-概要は、上記の追加図面種類の概要を具体的に入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<追加図面種類-概要></追加図面種類-概要>

</追加図面種類>

<格納サブフォルダ></格納サブフォルダ>

<基準点情報>

<!--(任意入力)測地系は、原則として、01(世界測地系 2000)又は02(世界測地系 2011)を入力するものとする。-->

<測地系>02</測地系>

<緯度経度>

<!--(任意入力)既知の基準点がある場合、基準点情報を7桁で入力するものとする。不明な場合は、入力しないこと。-->

<基準点情報緯度>0394208</基準点情報緯度>

<基準点情報経度>1410916</基準点情報経度>

</緯度経度>

<平面直角座標>

<!--(任意入力)既知の基準点がある場合、基準点情報を入力するものとする。不明な場合は、入力しないこと。-->

<!--(任意入力)座標系番号は、平面直角座標(19系)の系番号を入力するものとする。なお、盛岡市は、全て10系である。-->

<基準点情報平面直角座標系番号>10</基準点情報平面直角座標系番号>

<!--(任意入力)図面中の1点の平面直角座標(10系)をX・Y座標で入力するものとする。不明な場合は、入力しないこと。-->

<基準点情報平面直角座標 X 座標>-8631.188</基準点情報平面直角座標 X 座標>

<基準点情報平面直角座標 Y 座標>-35654.746</基準点情報平面直角座標 Y 座標>

</平面直角座標>

</基準点情報>

<その他>

<新規レイヤ>

<!--(任意入力)新規レイヤ-略語は、選択した工種で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称256文字以内の半角英数大文字で入力するものとする。-->

<新規レイヤ-略語>○○</新規レイヤ-略語>

<!--(任意入力)新規レイヤ-概要は、追加した新規レイヤに関する内容を入力するものとする。-->

<新規レイヤ-概要>××</新規レイヤ-概要>

</新規レイヤ>

<!--(任意入力)受注者説明文は、受注者側で図面に付けるコメントがある場合を入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<受注者説明文>□□</受注者説明文>

<!--(任意入力)受注者説明文は、発注者側で図面に付けるコメントがある場合を入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<発注者説明文>■■</発注者説明文>

<!--(任意入力)予備は、必要に応じて入力するものとする。利用しない場合は、入力しないこと。-->

<予備>○○</予備>

</その他>

<!--※002C0PLZ. SFC-全体平面図. SFC (C0PL002Z. SFC) の入力項目終わり-->

</図面情報>

<図面情報>

<!--※以下、納品するすべてのファイル(00nC0nnZ. SFC (C0nn00nZ. SFC))の入力を上記と同様に行うこと。-->

- ・
- ・
- ・

</図面情報>

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</drawingdata>

(4) (土木) **デジタル写真管理情報基準**に沿った管理ファイルの一例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO05.DTD" []>
<!--?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO05.XSL"?-->
<!--(必須項目)DTD ファイルのバージョンを入力するものとする(現行は「05」)。-->
<photodata DTD_version="05">
  <基礎情報>
    <!--(必須項目)写真フォルダ名を入力するものとする。-->
    <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名>
    <!--(任意項目)参考図フォルダ名を作成した場合は、入力するものとする。-->
    <参考図フォルダ名>PHOTO/DRA</参考図フォルダ名>
    <!--(必須項目)適用要領基準は、国土交通省で定めた要領・基準の版を入力するものとする。-->
    <適用要領基準>土木 201603-01</適用要領基準>
  </基礎情報>
  <写真情報>
    <!--※P0000001.JPG の入力項目始まり-->
    <写真ファイル情報>
      <!--(必須項目)写真通し番号を入力するものとする。1～-->
      <シリアル番号>1</シリアル番号>
      <!--(必須項目)写真ファイル名称を拡張子も含めて入力するものとする。-->
      <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>
      <!--(必須項目)写真ファイルに関する日本語名等を入力するものとする。-->
      <写真ファイル日本語名>掘削工 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
      <!--(必須項目)保存されている電子媒体番号を入力するものとする。-->
      <メディア番号>1</メディア番号>
```

</写真ファイル情報>

<撮影工種区分>

<!--(必須項目)「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して入力するものとする。-->

<写真-大分類>工事</写真-大分類>

<!--(必須項目)「着手前及び完成写真」「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「事故写真」「その他」の区分のいずれかを入力するものとする。-->

<写真区分>施工状況写真</写真区分>

<!--(任意項目)工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を入力するものとする。-->

<工種>土工</工種>

<!--(任意項目)工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を入力するものとする。-->

<種別>掘削工</種別>

<!--(任意項目)工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を入力するものとする。-->

<細別>掘削(土砂)</細別>

<!--(必須項目)写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を入力するものとする。-->

<写真タイトル>掘削状況写真</写真タイトル>

<!--(任意項目)工種区分の特筆事項があれば入力するものとする(複数入力可)。-->

<工種区分予備>〇〇〇。</工種区分予備>

</撮影工種区分>

<付加情報>

<!--(任意項目)参考図ファイルを付した場合、撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を入力するものとする。-->

<参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名>

<!--(任意項目)参考図ファイルに関する日本語名等を入力するものとする。-->

<参考図ファイル日本語名>平面図 00001.JPG</参考図ファイル日本語名>

<!--(任意項目)参考図の内容が判るようなタイトルを入力するものとする。-->

<参考図タイトル>平面図</参考図タイトル>

<!--(任意項目)付加情報の特筆事項があれば入力するものとする(参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば入力するものとする。)-->

<付加情報予備>○○○。</付加情報予備>

</付加情報>

<撮影情報>

<!--(任意項目)当該写真に関する測点位置，撮影対象までの距離，撮影内容等を簡潔に記入する。-->

<撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>

<!--(必須項目)撮影年月日は，必ず10桁で記入する。-->

<撮影年月日>2017-11-14</撮影年月日>

</撮影情報>

<!--(必須項目)代表写真の場合，「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を入力するものとする。-->

<代表写真>1</代表写真>

<!--(必須項目)提出頻度に基づく写真である場合，「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。-->

<提出頻度写真>1</提出頻度写真>

<!--(任意項目)黒板の判読が困難な場合，設計寸法及び実測寸法等の補足事項を入力するものとする。-->

<施工管理値>設計寸法○○mm 実測寸法××mm</施工管理値>

<!--(任意項目)受注者側で検査立会者，特記事項等状況等，特筆事項があれば入力するものとする。-->

<請負者説明文>○○○。</請負者説明文>

<!--※P0000001. JPG の入力項目終わり-->

</写真情報>

<写真情報>

<!--※P0000002. JPG の入力項目始まり-->

<写真ファイル情報>

<!--(必須項目)写真通し番号を入力するものとする。1～-->

<シリアル番号>2</シリアル番号>

<!--(必須項目)写真ファイル名称を拡張子も含めて入力するものとする。-->

<写真ファイル名>P0000002. JPG</写真ファイル名>

<!--(必須項目)写真ファイルに関する日本語名等を入力するものとする。-->

<写真ファイル日本語名>埋戻工 0001. JPG</写真ファイル日本語名>

<!--(必須項目)保存されている電子媒体番号を入力するものとする。-->

<メディア番号>1</メディア番号>

</写真ファイル情報>

<撮影工種区分>

<!--(必須項目)「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して入力するものとする。-->

<写真-大分類>工事</写真-大分類>

<!--(必須項目)「着手前及び完成写真」「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「事故写真」「その他」の区分のいずれかを入力するものとする。-->

<写真区分>施工状況写真</写真区分>

<!--(任意項目)工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を入力するものとする。-->

<工種>土工</工種>

<!--(任意項目)工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を入力するものとする。-->

<種別></種別>

<!--(任意項目)工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を入力するものとする。-->

<細別>埋戻しく</細別>

<!--(必須項目)写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を入力するものとする。-->

<写真タイトル>埋戻状況写真</写真タイトル>

<!--(任意項目)工種区分の特筆事項があれば入力するものとする(複数入力可)。-->

<工種区分予備>〇〇〇。</工種区分予備>

</撮影工種区分>

<付加情報>

<!--(任意項目)参考図ファイルを付した場合、撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を入力するものとする。-->

<参考図ファイル名>D0000001. JPG</参考図ファイル名>

<!--(任意項目)参考図ファイルに関する日本語名等を入力するものとする。-->

<参考図ファイル日本語名>平面図 00001. JPG</参考図ファイル日本語名>

<!--(任意項目)参考図の内容が判るようなタイトルを入力するものとする。-->

<参考図タイトル>平面図</参考図タイトル>

<!--(任意項目)付加情報の特筆事項があれば入力するものとする(参考図, 撮影箇所等に関して特筆事項があれば入力するものとする。)-->

<付加情報予備>〇〇〇。</付加情報予備>

</付加情報>

<撮影情報>

<!--(任意項目)当該写真に関する測点位置, 撮影対象までの距離, 撮影内容等を簡潔に入力するものとする。-->

<撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>

<!--(必須項目)撮影年月日は, 必ず10桁で入力するものとする。-->

<撮影年月日>2017-11-14</撮影年月日>

</撮影情報>

<!--(必須項目)代表写真の場合, 「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を入力するものとする。-->

<代表写真>1</代表写真>

<!--(必須項目)提出頻度に基づく写真である場合, 「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。-->

<提出頻度写真>1</提出頻度写真>

<!--(任意項目)黒板の判読が困難な場合, 設計寸法及び実測寸法等の補足事項を入力するものとする。-->

<施工管理値>設計寸法〇〇mm 実測寸法××mm</施工管理値>

<!--(任意項目)受注者側で検査立会者, 特記事項等状況等, 特筆事項があれば入力するものとする。-->

<請負者説明文>〇〇〇。</請負者説明文>

<!--※P0000002. JPG の入力項目終わり-->

</写真情報>

<写真情報>

<!--※以下, 納品するすべてのファイル(Pnnnnnnn. JPG)の入力を上記と同様に行うこと。-->

- ・
- ・
- ・

</写真情報>

<ソフトメーカー用 TAG>(ソフトウェアメーカーが管理のために使用する(複数入力可。))</ソフトメーカー用 TAG>

</photodata>

(5) 建築設計業務等電子納品要領に沿った管理ファイルの一例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE gyomudata SYSTEM "IDX_B02.DTD" []>
<!--(必須項目)DTD ファイルのバージョンを入力するものとする(現行は「02」)。-->
<gyomudata DTD_version="02">
  <基礎情報>
    <!--(必須項目)メディア番号は、提出した電子媒体の通し番号を入力するものとする。単一の電子媒体であれば1となる。-->
    <メディア番号>1</メディア番号>
    <!--(必須項目)メディア総枚数は、提出した電子媒体の総枚数を入力するものとする。-->
    <メディア総枚数>1</メディア総枚数>
    <!--(必須項目)電子媒体の種別を入力するものとする。-->
    <メディア種別>DVD</メディア種別>
    <!--(必須項目)電子媒体の論理フォーマットを入力するものとする。-->
    <メディアフォーマット>UDF</メディアフォーマット>
    <!--(任意項目)図面フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>
    <!--(任意項目)図面オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <図面オリジナルファイルフォルダ名>DRAWING/ORG</図面オリジナルファイルフォルダ名>
    <!--(任意項目)資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <資料フォルダ名>REPORT</資料フォルダ名>
    <!--(任意項目)資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <資料オリジナルファイルフォルダ名>REPORT/ORG</資料オリジナルファイルフォルダ名>
  </基礎情報>
  <ソフトウェア情報>
    <!--(任意項目)業務委託管理ファイルを作成したソフトウェア名を入力するものとする。-->
```

<ソフトウェア名>〇〇電子成果品作成支援・検査システム</ソフトウェア名>

<!-(任意項目)業務委託管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを入力するものとする。-->

<バージョン情報>〇〇</バージョン情報>

<!-(任意項目)業務委託管理ファイルを作成したソフトウェアメーカー名を入力するものとする。-->

<メーカー名>△△株式会社</メーカー名>

<!-(任意項目)業務委託管理ファイルを作成したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等の連絡先を記入する。-->

<メーカー連絡先>東京都□□区□□</メーカー連絡先>

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</ソフトウェア情報>

<業務情報>

<!-(必須項目)業務番号は、契約書に掲載してある番号を入力するものとする。掲載の無いものは、「999999」を入力するものとする。-->

<業務番号>123456</業務番号>

<!-(必須項目)業務名称は、契約の名称を入力するものとする。-->

<業務名称>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇業務</業務名称>

<!-(必須項目)（「設計」、「積算」、「工事監理」、「設計意図伝達」、「敷地調査」、「その他」の業務種別を入力するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<業務種別>設計</業務種別>

<業務種別>積算</業務種別>

<!-(必須項目)契約金額は、最終請負金額を入力するものとする。-->

<契約金額>10500000</契約金額>

<!-(必須項目)履行期間着手日を入力するものとする。必ず10桁で入力するものとする。-->

<履行開始日>2013-05-01</履行開始日>

<!-(必須項目)履行期間完了日を入力するものとする。必ず10桁で入力するものとする。-->

<履行完了日>2013-10-31</履行完了日>

<!-(必須項目)主な業務の内容を入力するものとする。127文字以内とする。-->

<業務内容>〇〇設計業務N=1棟</業務内容>

</業務情報>

<発注者情報>

<!--(必須項目)発注者機関コードは、「盛岡市」を示す「20302201」を入力するものとする。-->

<発注者コード>20301201</発注者コード>

<!--(必須項目)発注者機関事務所名は、「盛岡市」を入力するものとする。-->

<発注者名称>盛岡市</発注者名称>

</発注者情報>

<受注者情報>

<!--(必須項目)受注者コードは、盛岡市役所財政部契約検査課から送付のある盛岡市競争入札参加資格者名簿(4桁)を入力するものとする。-->

<受注者コード>1234</受注者コード>

<!--(必須項目)受注者名を入力するものとする。-->

<受注者名称>△△設計株式会社</受注者名称>

</受注者情報>

<施設情報>

<!--(任意項目)発注者より提示されたコードを記入する。官庁営繕事業では8桁で入力するものとする。-->

<施設識別コード>12345678</施設識別コード>

<!--(任意項目)発注者より提示された施設名称を入力するものとする。-->

<施設名称>〇〇市営住宅</施設名称>

<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->

<施設基準点緯度>39.702236</施設基準点緯度>

<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->

<施設基準点経度>141.154714</施設基準点経度>

<建築物情報>

<!--(任意項目)発注者より提示されたコードを記入する。官庁営繕事業では11桁で入力するものとする。-->

<建築物識別コード>12345678001</建築物識別コード>

<!--(任意項目)発注者より提示された建築物の名称を入力するものとする。-->

<建築物名称>〇〇市営住宅〇号棟</建築物名称>

<!--(必須項目)建築物の所在地を入力するものとする。-->

<所在地>盛岡市〇丁目××</所在地>

<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->

<建築物基準点緯度>39.702236</建築物基準点緯度>

<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->

<建築物基準点経度>141.154714</建築物基準点経度>

</建築物情報>

</施設情報>

<予備>調査職員 盛岡市役所建設部建築住宅課 盛岡太郎</予備>

<予備>管理技術者 〇〇建築事務所 都南次郎</予備>

<予備>照査技術者 〇〇建築事務所 玉山三郎</予備>

<予備>下請負人 △△地質株式会社</予備>

</gyomodata>

(6) 営繕工事電子納品要領に沿った管理ファイルの一例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "IDXC_B02.DTD" []>
<!--(必須項目)DTD ファイルのバージョンを入力するものとする(現行は「02」)。-->
<constdata DTD_version="02">
  <基礎情報>
    <!--(必須項目)メディア番号は、提出した電子媒体の通し番号を入力するものとする。単一の電子媒体であれば1となる。-->
    <メディア番号>1</メディア番号>
    <!--(必須項目)メディア総枚数は、提出した電子媒体の総枚数を入力するものとする。-->
    <メディア総枚数>1</メディア総枚数>
    <!--(必須項目)電子媒体の種別を入力するものとする。-->
    <メディア種別>DVD</メディア種別>
    <!--(必須項目)電子媒体の論理フォーマットを入力するものとする。-->
    <メディアフォーマット>UDF</メディアフォーマット>
    <!--(任意項目)完成図フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <完成図フォルダ名>DRAWINGF</完成図フォルダ名>
    <!--(任意項目)完成図オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <完成図オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGF/ORG</完成図オリジナルファイルフォルダ名>
    <!--(任意項目)保全に関する資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <保全に関する資料フォルダ名>MAINT</保全に関する資料フォルダ名>
    <!--(任意項目)保全に関する資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名>MAINT/ORG</保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名>
    <!--(任意項目)施工計画書ファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
    <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
    <!--(任意項目)施工計画書オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->
```

<施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)工程表ファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<工程表フォルダ名>SCHEDULE</工程表フォルダ名>  
<!--(任意項目)工程表オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<工程表オリジナルファイルフォルダ名>SCHEDULE/ORG</工程表オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)打合せ簿フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>  
<!--(任意項目)打合せ簿オリジナルファイルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)機材関係資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<機材関係資料フォルダ名>MATERIAL</機材関係資料フォルダ名>  
<!--(任意項目)機材関係資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>MATERIAL/ORG</機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)施工関係資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<施工関係資料フォルダ名>PROCESS</施工関係資料フォルダ名>  
<!--(任意項目)施工関係資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名>PROCESS/ORG</施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)検査関係資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<検査関係資料フォルダ名>INSPECT</検査関係資料フォルダ名>  
<!--(任意項目)検査関係資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名>INSPECT/ORG</検査関係資料オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)発生材関係資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<発生材関係資料フォルダ名>SALVAGE</発生材関係資料フォルダ名>  
<!--(任意項目)発生材関係資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->  
<発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>SALVAGE/ORG</発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名>  
<!--(任意項目)その他資料フォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<その他資料フォルダ名>OTHR</その他資料フォルダ名>

<!--(任意項目)その他資料オリジナルフォルダを作成した場合は、入力するものとする。-->

<その他資料オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG</その他資料オリジナルファイルフォルダ名>

</基礎情報>

<ソフトウェア情報>

<!--(任意項目)工事管理ファイルを作成したソフトウェア名を入力するものとする。-->

<ソフトウェア名>〇〇電子成果品作成支援・検査システム</ソフトウェア名>

<!--(任意項目)工事管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを入力するものとする。-->

<バージョン情報>〇〇</バージョン情報>

<!--(任意項目)工事管理ファイルを作成したソフトウェアメーカー名を入力するものとする。-->

<メーカー名>〇〇株式会社</メーカー名>

<!--(任意項目)工事管理ファイルを作成したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等の連絡先を記入する。-->

<メーカー連絡先>東京都〇〇区■■■</メーカー連絡先>

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</ソフトウェア情報>

<工事情報>

<!--(必須項目)工事番号は、契約書に掲載してある番号を入力するものとする。掲載の無いものは、「999999」を入力するものとする。-->

<工事番号>123456</工事番号>

<!--(必須項目)工事名称は、契約の名称を入力するものとする。-->

<工事名称>市営〇〇住宅建築主体工事</工事名称>

<!--(必須項目)工事分野は、CORINS の「公共事業の分野」に従って記入するものとする。-->

<工事分野>建築</工事分野>

<!--(必須項目)工事業種は、CORINS の「本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種」に従って記入するものとする。-->

<工事業種>建築一式工事</工事業種>

<!--(必須項目)工種は、CORINS の「工種、工法・型式」の「工種」を記入するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<工種>建築一式工事</工種>

<!-(必須項目)工法型式は、CORINSの「工種、工法・型式」の「工法・型式」を記入するものとする。複数ある場合は、タグを複数作成し、入力するものとする。-->

<工法型式>建築一式工事</工法型式>

<!-(必須項目)契約金額は、最終請負金額を入力するものとする。-->

<契約金額>525000000</契約金額>

<!-(必須項目)工期開始日を入力するものとする。必ず10桁で入力するものとする。-->

<工期開始日>2013-12-10</工期開始日>

<!-(必須項目)工期終了日を入力するものとする。必ず10桁で入力するものとする。-->

<工期終了日>2014-03-28</工期終了日>

<!-(必須項目)工事内容は、工事概要及び主工種とその数量を記入するものとする。127文字以内とする。-->

<工事内容>新営,RC-4,3000m2</工事内容>

</工事情報>

<発注者情報>

<!-(必須項目)発注者機関コードは、「盛岡市」を示す「50301201」を入力するものとする。-->

<発注者コード>50301201</発注者コード>

<!-(必須項目)発注者名称は、「盛岡市」を入力するものとする。-->

<発注者名称>盛岡市</発注者名称>

</発注者情報>

<受注者情報>

<!-(必須項目)受注者コードは、盛岡市役所財政部契約検査課から送付のある盛岡市競争入札参加資格者名簿(4桁)を入力するものとする。-->

<受注者コード>1234</受注者コード>

<!-(必須項目)受注者名を入力するものとする。-->

<受注者名称>△△建設株式会社</受注者名称>

</受注者情報>

<施設情報>

<!-(任意項目)発注者より提示されたコードを記入する。官庁営繕事業では8桁で入力するものとする。-->

<施設識別コード>12345678</施設識別コード>

<!--(任意項目)発注者より提示された施設名称を入力するものとする。-->  
<施設名称>〇〇市営住宅</施設名称>  
<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->  
<施設基準点緯度>39.702236</施設基準点緯度>  
<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->  
<施設基準点経度>141.154714</施設基準点経度>  
<建築物情報>  
<!--(任意項目)発注者より提示されたコードを記入する。官庁営繕事業では11桁で入力するものとする。-->  
<建築物識別コード>12345678001</建築物識別コード>  
<!--(任意項目)発注者より提示された建築物の名称を入力するものとする。-->  
<建築物名称>〇〇市営住宅〇号棟</建築物名称>  
<!--(必須項目)建築物の所在地を入力するものとする。-->  
<所在地>盛岡市〇丁目××</所在地>  
<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->  
<建築物基準点緯度>39.702236</建築物基準点緯度>  
<!--(任意項目)「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ等を利用して入力する。小数点以下6桁。-->  
<建築物基準点経度>141.154714</建築物基準点経度>  
</建築物情報>  
</施設情報>  
<予備>監督職員 盛岡市役所建設部建築住宅課 盛岡太郎</予備>  
<予備>現場代理人 〇〇建設株式会社 都南二郎</予備>  
<予備>主任技術者 〇〇建設株式会社 玉山三郎</予備>  
<予備>下請負人 □□舗装株式会社</予備>  
<予備>下請負人 △△設備株式会社</予備>  
</constdata>